

DIAMケイマン・トラストー Aspect マネージド・フューチャーズ・ ファンド

米ドルクラス／豪ドルクラス／円クラス
ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／外国株式投資信託

運用報告書(全体版)

作成対象期間:第8期(自:2018年12月1日 至:2019年11月30日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、DIAMケイマン・トラスト(以下「トラスト」といいます。)のシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド(以下「ファンド」といいます。なお、ファンドの名称について、「DIAMケイマン・トラストー」を省略することがあります。)は、このたび、第8期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

管理会社

クイーンズゲート・バンク・アンド・
トラスト・カンパニー・リミテッド

代行協会員

三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券
株式会社

ファンドの仕組みは次のとおりです。

ファンド形態	ケイマン諸島籍／オープン・エンド契約型／外国株式投資信託
信託期間	ファンドは2022年11月30日に終了します。（ただし、それ以前に繰上償還される場合があります。また、受託銀行と協議の上での管理会社の決定により、またはファンド受益者決議により、信託期間を延長する場合があります。）なお、ファンドの設定日は、2012年3月16日です。
運用方針	ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。
主要投資対象	国際的な先物契約および先渡契約（商品先物および通貨先渡しを含みます。）、債券および短期金融商品（リバースレポ取引を含みます。）ならびにその他の派生商品。
ファンドの運用方法	<p>管理会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、投資顧問契約に基づき、投資顧問会社であるアセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッドに委託しています。</p> <p>投資顧問会社は、ファンド資産の投資および運用に関する業務を、副投資顧問契約に基づき、副投資顧問会社であるアспект・キャピタル・リミテッドに委託しています。</p> <p>副投資顧問会社は、システム化され幅広く分散されたグローバルな投資プロセスを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産（株式、株価指数、債務証券（債券を含みます。）、通貨、金利および商品（エネルギー、金属および農産品を含みます。）を含みますが、これに限定しません。）の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な投資戦略を展開します。また、投資顧問会社は、ファンドについて米ドルを売却し、取引対象通貨を購入するクラス為替取引に関する業務を、為替管理契約に基づき、為替管理会社であるザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンに委託しています。副投資顧問会社は、米ドル以外の通貨建の債券および短期金融商品へ投資する場合、投資通貨を売却し、米ドルを購入する為替取引を行う予定です。また、副投資顧問会社は、ファンドのため、投資運用から生じる米ドル以外の通貨建ての損益を、米ドルに換金する取引を日常的に実行します。</p>
分配方針	<p>収益分配は、投資顧問会社の裁量により行われます。</p> <p>分配基準日：分配落ち日の前ファンド営業日</p> <p>分配金支払日：分配落ち日から起算して原則として7ファンド営業日目以降</p> <p>豪ドルクラスに関しては、分配金支払日がオーストラリア営業日*に該当しない場合、分配はオーストラリア営業日である翌ファンド営業日に支払われます。</p> <p>日本における販売会社または販売取扱会社は、必要な支払処理を完了次第、投資者に対して分配金を支払います。</p> <p>※「オーストラリア営業日」とは、シドニーの銀行が営業を行う日（土曜日および日曜日を除きます。）または投資顧問会社と協議の上、管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。</p>

目 次

	頁
1. 運用の経過および運用状況の推移等	1
2. 運 用 実 績	8
3. 純 資 産 額 計 算 書	15
4. フ ァ ン ド の 経 理 状 況	16
5. お 知 ら せ	63

(注1) 米ドルおよび豪ドルの円貨換算は、令和2年3月末日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=108.83円、1豪ドル=66.09円)によります。

(注2) ファンドは、ケイマン諸島の法律に基づいて設立されていますが、受益証券は、クラス建通貨である日本円、米ドルまたは豪ドル建てのため、本書の金額表示は別段の記載がない限り、日本円、米ドルまたは豪ドルをもって行います。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、適宜の単位に四捨五入している場合があります。したがって、合計の数字が一致しない場合があります。また、円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。したがって、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

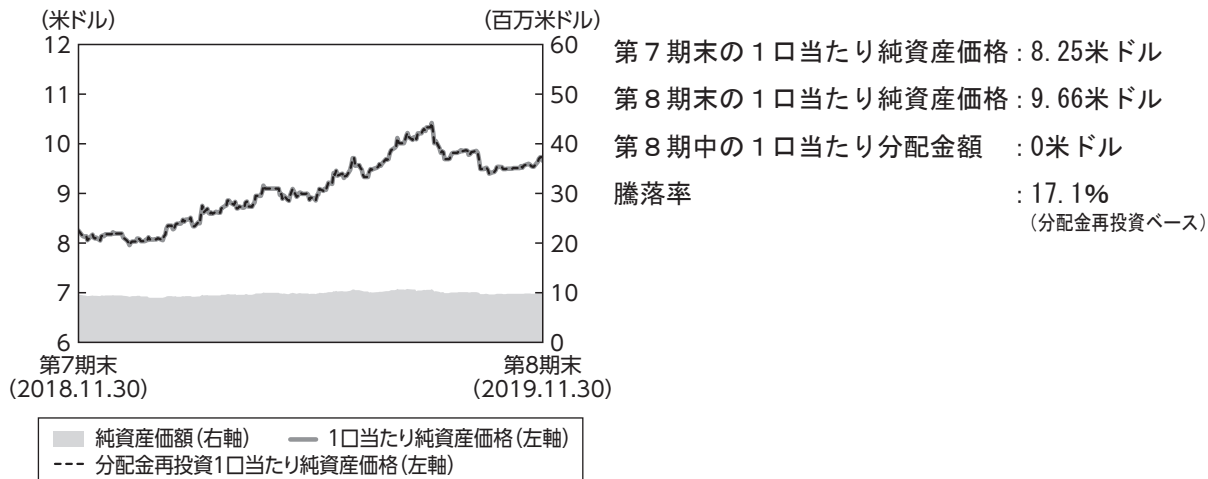
(注)「1. 運用の経過および運用状況の推移等」の1口当たり純資産価格および純資産価額は、ファンド営業日に公表された数値であり、後掲の国際財務報告基準に準拠して作成された財務書類の数値ならびに「2. 運用実績 (1) 純資産の推移」および「3. 純資産額計算書」の数値とは異なります。

1. 運用の経過および運用状況の推移等

(1) 当期の運用経過および今後の運用方針

■ 当期の1口当たり純資産価格等の推移について

米ドルクラス



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、米ドルクラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

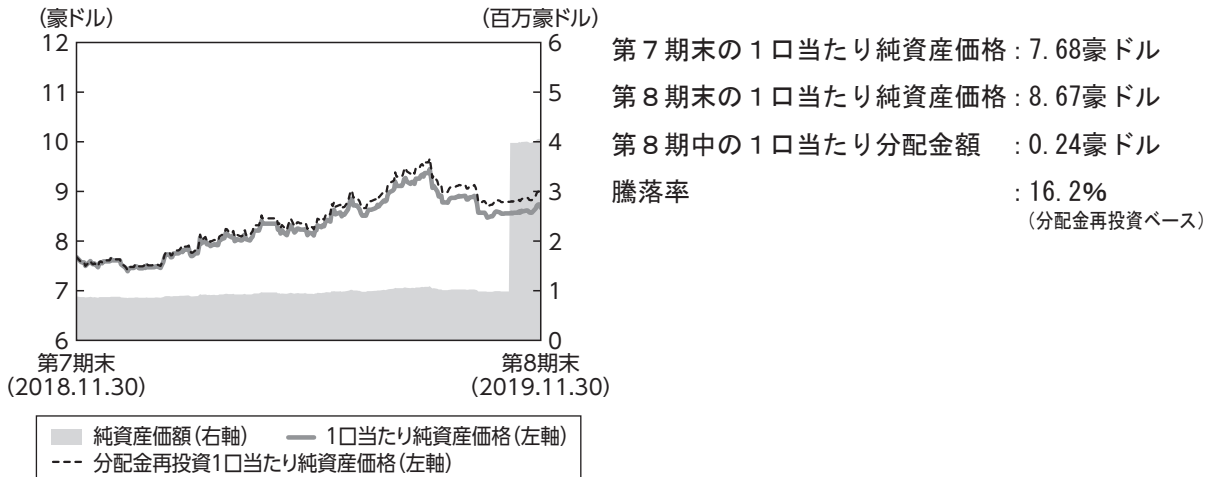
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは幅広い部分での債券ロングポジション、先進国株式を中心とした株式のロングポジション、為替のポジションが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となりました。一方で、農産物およびエネルギーセクターのショートポジション、金属セクターはマイナス要因となりました。

豪ドルクラス



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

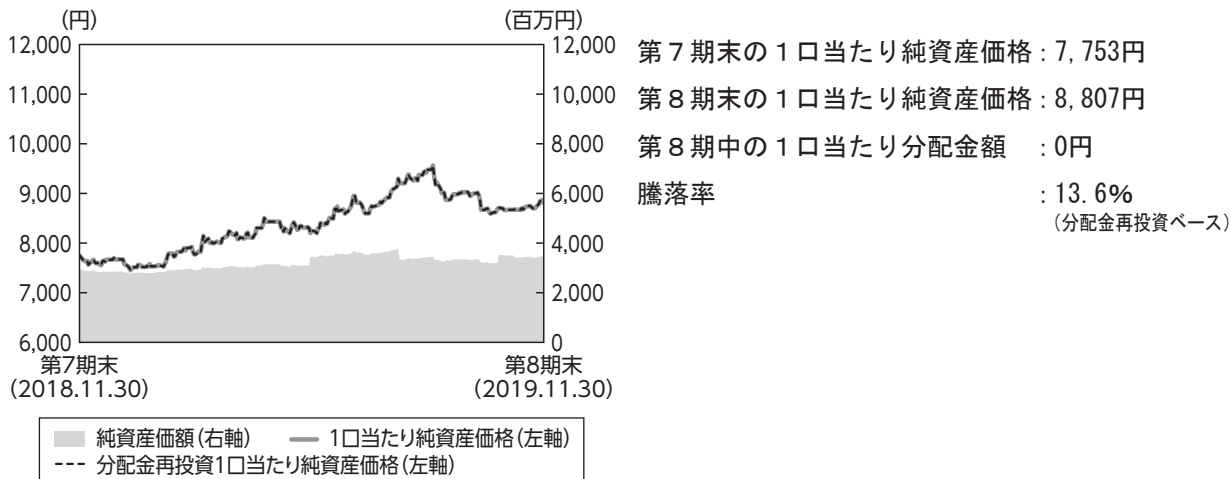
(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは幅広い部分での債券ロングポジション、先進国株式を中心とした株式のロングポジション、為替のポジションが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となりました。一方で、農産物およびエネルギーセクターのショートポジション、金属セクターはマイナス要因となりました。

円クラス



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。なお、円クラスについては、分配実績はありません。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第7期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しております。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注4) ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

期間中、当ファンドは幅広い部分での債券ロングポジション、先進国株式を中心とした株式のロングポジション、為替のポジションが1口当たり純資産価格の変動におけるプラス要因となりました。一方で、農産物およびエネルギーセクターのショートポジション、金属セクターはマイナス要因となりました。

■分配金について

当期(2018年12月1日～2019年11月30日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落ち日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

米ドルクラスおよび円クラスについては、分配実績はありません。

豪ドルクラス

分配落ち日	1口当たり純資産価格(豪ドル)	1口当たり分配金額(豪ドル) (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 ^(注2) (豪ドル)
2018年12月17日	7.47	0.02 (0.27%)	△0.19
2019年1月15日	7.49	0.02 (0.27%)	0.04
2019年2月15日	7.75	0.02 (0.26%)	0.28
2019年3月15日	7.90	0.02 (0.25%)	0.17
2019年4月15日	8.01	0.02 (0.25%)	0.13
2019年5月15日	8.20	0.02 (0.24%)	0.21
2019年6月17日	8.39	0.02 (0.24%)	0.21
2019年7月16日	8.58	0.02 (0.23%)	0.21
2019年8月15日	9.27	0.02 (0.22%)	0.71
2019年9月17日	8.77	0.02 (0.23%)	△0.48
2019年10月15日	8.57	0.02 (0.23%)	△0.18
2019年11月15日	8.60	0.02 (0.23%)	0.05

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落ち日における1口当たり分配金額

b=当該分配落ち日における1口当たり純資産価格+当該分配落ち日における1口当たり分配金額
以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落ち日における1口当たり純資産価格+当該分配落ち日における1口当たり分配金額

c=当該分配落ち日の直前の分配落ち日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2018年12月17日の直前の分配落ち日(2018年11月15日)における1口当たり純資産価格は、7.68豪ドルでした。

■投資環境について

期初は金融政策の引き締めや経済成長の減速、地政学的な不確実性に対する認識が市場を支配し、株式市場において広範囲な価格の下落が発生しました。2019年に入ってから、FRB(米連邦準備理事会)によるタカ派的姿勢が緩和したこと、堅調な企業収益により米国株式が過去30年の各1月で最大の上昇を記録するなど、市場状況が反転しました。一方で3月末までには、芳しくない世界の経済指標により景気後退の懸念が広がり、2007年以来初めて3ヶ月物の米財務省証券と米国10年物国債の利回りが逆転しました。当戦略はこうしたリスク回避ムードの中適切に運用を行い、債券のロングポジションから利益を得ることができました。商品市場では、米国での在庫の急減やイラン及びベネズエラへの制裁により原油価格が急騰しました。世界で最大の豚肉消費国である中国が、アフリカ豚コレラを懸念して米国から相応量の豚肉を購入したことで、当商品の価格が反騰しました。こうした商品市場の動きは当戦略のマイナス要因となりました。

2019年の3-6月期には、米中貿易問題の不確実性や経済成長への懸念が市場の主な関心事となり、市場参加者の資金は安定的な資産に集まりました。欧米を含む各国の中央銀行の発言により政策の変更が示唆されたこと、政治的な対立により、安全資産への需要が高まったことで金価格は6年来の高値を更新しました。

2019年後半初めにかけては、世界経済の勢いの弱さと通商面の緊張が、10年以上前に起こった金融危機以来初の、FRBによる0.25%の利下げに繋がりました。Brexit(英国のEU離脱)による混乱からボリス・ジョンソン氏が首相に就任し、英ポンドが対ドルで過去数年来の安値を記録したことで、当戦略の英ポンドショートポジションが恩恵を受けました。米中貿易戦争の継続が通貨戦争に発展したことで、人民元は過去10年で初となる1ドル=7元台の水準まで下落しました。貿易戦争が激化するにつれて債券の価格が高騰し、記録的に多くのグローバル債券がマイナススイールドとなりました。

2019年6-9月期の終わりにかけては、米中間の関係に改善がみられたことで国債への需要が減退し、株式市場へのリスク選好度が回復しました。米国のFRBは二度目となる0.25%の利下げを実施しました。英国の政治においては、英国の最高裁判所がボリス・ジョンソン首相の議会閉会を違法とするなど、Brexitの動きが進展するにつれて英ポンドの価格は上下しました。商品市場においては、サウジアラビアで2箇所の石油施設が攻撃されたことで、ブレント原油の価格が9月の半ばにかけて2割ほど上昇するという歴史的な値動きが記録されました。

当期末にかけては、地政学リスクに対する楽観的な見方が広がったことで、世界の株式市場が上昇し、国債の利回りが拡大する動きがみられました。リスク選好度の上昇には、米中で貿易交渉の合意への動きが始まったことが大きく寄与しています。一方で英国では、ボリス・ジョンソン首相が離脱期限の延期をEUに要請し、2019年10月31日とされていた期限が延長されました。

■ポートフォリオについて

ポートフォリオのうち、幅広い範囲での債券のロングポジション、先進国を中心とした株式のロングポジション、為替の各種ポジションがファンドにプラスに寄与しました。一方で、農産物やエネルギーセクターのショートポジション、金属セクターの各種ポジションなど商品市場のポジションがマイナスに寄与しました。

■投資の対象とする有価証券の主な銘柄

当期末現在における有価証券の主な銘柄については、後記「4. ファンドの経理状況、(3) 投資有価証券明細表等」をご参照ください。

■今後の運用方針

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大、政治的混乱、世界経済の減速懸念等、非常に不確実性の高い市場に直面しており、当ファンドのような効率的な資産の分散戦略は、過去のいつの時点にも増して重要な戦略になると考えております。

このような状況の中、当ファンドのモデルが競争力を保つための緻密なリサーチを続け、投資家の皆様へ良好な運用成果を届けることを目指してまいります。これまでのリサーチにおける経験と更なるトレンドフォロー戦略の改善、そして様々な投資環境の中で培ってきた当ファンドのトラックレコードを合わせることで、今後も投資家の皆様のポートフォリオに多様性をもたらすことができると考えております。

(2) 費用の明細

項目	年率/金額	項目の概要								
受託報酬	純資産価額の年率0.01%(ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)	ファンドに対して提供する、ファンドの資産の受託業務についての対価								
管理報酬	純資産価額の年率0.01%(ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。)	ファンドに対して提供する、ファンドの資産の運用、管理およびファンドの受益証券の発行、買戻し業務等についての対価								
管理事務代行報酬	純資産価額に応じて以下の料率を乗じて得た額(ただし、年間89,000米ドルを最低額とします。)	ファンドに対して提供する、ファンドの報酬および費用の算出、純資産価額の算出および発表、受益証券の申込みおよび買戻し請求の処理、ファンドの主たる記録の維持、ファンドの報酬費用の支払いその他の管理事務代行業務および登録・名義書換事務代行業務についての対価								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>純資産価額</th> <th>管理事務代行報酬料率(年率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250百万米ドル未満の部分</td> <td>0.08%</td> </tr> <tr> <td>250百万米ドル以上 500百万米ドル未満の部分</td> <td>0.06%</td> </tr> <tr> <td>500百万米ドル以上の部分</td> <td>0.04%</td> </tr> </tbody> </table>		純資産価額	管理事務代行報酬料率(年率)	250百万米ドル未満の部分	0.08%	250百万米ドル以上 500百万米ドル未満の部分	0.06%	500百万米ドル以上の部分	0.04%
	純資産価額		管理事務代行報酬料率(年率)							
	250百万米ドル未満の部分		0.08%							
250百万米ドル以上 500百万米ドル未満の部分	0.06%									
500百万米ドル以上の部分	0.04%									
保管報酬	純資産価額の年率0.02%または受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬	ファンドに対して提供する、保管する証券の処理、評価および報告等の保管業務についての対価								
投資顧問報酬	純資産価額の年率0.63%	ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および運用に関する業務についての対価								
副投資顧問報酬	<p>基本報酬：共通ポートフォリオ^(*)の純資産価額の年率1.5%</p> <p>成功報酬：さらに共通ポートフォリオの成功報酬控除前評価額が、その時点のハイウォーターマーク^(**)を超えた場合、その超過分の20%</p> <p>(*) 共通ポートフォリオとは、ファンドの資産から為替管理会社が発行する為替取引の未実現損益を除いたポートフォリオをいいます。</p> <p>(**) ハイウォーターマークとは、過去の共通ポートフォリオの成功報酬控除後の評価額の最高値(設定当初は発行価額)をいいます。</p>	ファンドに対して提供する、ファンドの資産の投資および再投資に関する副投資運用業務についての対価								
販売報酬	純資産価額の年率0.95%	ファンドに対して提供する、日本における受益証券の販売・買戻しの取扱業務等の販売会社としての業務についての対価								
代行協会員報酬	純資産価額の年率0.05%	ファンドに対して提供する、受益証券一口当たり純資産価格の公表、運用報告書(全体版)のホームページにおける提供、および交付運用報告書その他の書類の日本における販売会社への配布等の代行協会員としての業務についての対価								
その他の費用(当期)	ファンドの純資産価額の0.69%	コミッション支払代行報酬、専門家報酬、登録・名義書換事務代行報酬、印刷費用、維持費用、登録費用等								

(注1) 各報酬については、目論見書に定められている料率または金額を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用・手数料の金額をファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト(ファンド)単位で掲載しています。ファンドは複数のクラスで構成されています。

2. 運用実績

(1) 純資産の推移

下記会計年度末および第8会計年度における各月末の純資産の推移は、以下のとおりです。

(米ドルクラス受益証券)

	純資産価額		一口当たり純資産価格	
	米ドル	円	米ドル	円
第1会計年度末 (2012年11月30日)	58,498,377.09	6,366,378,379	8.61	937
第2会計年度末 (2013年11月30日)	21,386,126.53	2,327,452,150	8.08	879
第3会計年度末 (2014年11月30日)	11,237,986.27	1,223,030,046	9.78	1,064
第4会計年度末 (2015年11月30日)	13,610,125.41	1,481,189,948	11.18	1,217
第5会計年度末 (2016年11月30日)	19,482,476.27	2,120,277,892	9.81	1,068
第6会計年度末 (2017年11月30日)	19,026,583.79	2,070,663,114	10.02	1,090
第7会計年度末 (2018年11月30日)	9,604,627.65	1,045,271,627	8.25	898
第8会計年度末 (2019年11月30日)	9,905,860.02	1,078,054,746	9.66	1,051
2018年 12月末日	9,479,165.00	1,031,617,527	8.19	891
2019年 1月末日	9,012,304.68	980,809,118	8.10	882
2月末日	9,156,769.67	996,531,243	8.34	908
3月末日	9,675,291.74	1,052,962,000	8.82	960
4月末日	9,983,316.02	1,086,484,282	9.10	990
5月末日	9,792,878.33	1,065,758,949	8.92	971
6月末日	10,260,738.80	1,116,676,204	9.35	1,018
7月末日	10,298,471.55	1,120,782,659	9.69	1,055
8月末日	10,598,688.47	1,153,455,266	10.33	1,124
9月末日	10,122,297.26	1,101,609,611	9.87	1,074
10月末日	9,738,553.49	1,059,846,776	9.49	1,033
11月末日	9,905,860.02	1,078,054,746	9.66	1,051

(豪ドルクラス受益証券)

	純資産価額		一口当たり純資産価格	
	豪ドル	円	豪ドル	円
第1会計年度末 (2012年11月30日)	6,844,754.99	452,369,857	8.61	569
第2会計年度末 (2013年11月30日)	1,603,717.88	105,989,715	7.97	527
第3会計年度末 (2014年11月30日)	840,469.91	55,546,656	9.62	636
第4会計年度末 (2015年11月30日)	1,600,105.36	105,750,963	11.07	732
第5会計年度末 (2016年11月30日)	4,131,630.14	273,059,436	9.60	634
第6会計年度末 (2017年11月30日)	2,549,737.03	168,512,120	9.60	634
第7会計年度末 (2018年11月30日)	884,779.90	58,475,104	7.68	508
第8会計年度末 (2019年11月30日)	4,028,086.39	266,216,230	8.67	573
2018年 12月末日	876,499.62	57,927,860	7.61	503
2019年 1月末日	863,161.30	57,046,330	7.49	495
2月末日	886,965.10	58,619,523	7.70	509
3月末日	934,435.65	61,756,852	8.11	536
4月末日	961,392.80	63,538,450	8.35	552
5月末日	940,683.48	62,169,771	8.17	540
6月末日	982,584.75	64,939,026	8.53	564
7月末日	1,015,610.68	67,121,710	8.82	583
8月末日	1,078,816.74	71,298,998	9.37	619
9月末日	1,026,619.71	67,849,297	8.91	589
10月末日	984,971.60	65,096,773	8.56	566
11月末日	4,028,086.39	266,216,230	8.67	573

(円クラス受益証券)

	純資産価額	一口当たり純資産価格
	円	円
第1会計年度末 (2012年11月30日)	4,648,427,171	8,575
第2会計年度末 (2013年11月30日)	1,609,086,528	8,042
第3会計年度末 (2014年11月30日)	1,324,471,735	9,743
第4会計年度末 (2015年11月30日)	2,053,149,317	11,053
第5会計年度末 (2016年11月30日)	4,631,462,053	9,558
第6会計年度末 (2017年11月30日)	3,990,566,124	9,618
第7会計年度末 (2018年11月30日)	2,945,093,193	7,753
第8会計年度末 (2019年11月30日)	3,445,332,056	8,807
2018年 12月末日	2,847,698,523	7,668
2019年 1月末日	2,831,633,487	7,558
2月末日	2,909,244,247	7,774
3月末日	3,058,925,965	8,194
4月末日	3,136,899,037	8,434
5月末日	3,443,790,991	8,254
6月末日	3,539,883,094	8,624
7月末日	3,659,762,111	8,920
8月末日	3,430,206,281	9,478
9月末日	3,346,077,195	9,029
10月末日	3,498,780,752	8,664
11月末日	3,445,332,056	8,807

(2) 分配

(イ) 分配方針

投資顧問会社は、受託銀行を代理する管理事務代行会社に対し、各分配期間（以下「**現分配期間**」）といえます。）に関して、各クラスの受益証券の保有者に、投資顧問会社が決定した金額を分配するよう指示することができます。かかる金額は、受益証券の該当するクラスに帰属するファンドの収益、実現および未実現のキャピタルゲインならびに／または分配可能な資金から支払われます。さらに、投資顧問会社は、ファンドに係る分配の合理的な水準を維持するために必要であると考えられる場合、受託銀行を代理する管理事務代行会社に対してファンドの元本から分配金を支払うことを指示することができます。

投資家におかれては、分配支払額が収益を超える場合には、実質的に投資者の当初元本またはキャピタルゲインについての払戻しとなり、結果として元本を取り崩すこととなり得ることにご留意ください。したがって、元本の確保を求める投資者は、ファンドの純資産価値の減少は、資産価値の減少のみならず、分配による投資者に対する元本の払戻しによっても生ずることを考慮することが強く推奨されます。

現分配期間に関する分配は、分配落ち日の直前ファンド営業日（以下「**分配基準日**」）といえます。）において受益者名簿にその者の名前で該当するクラスの受益証券が登録されている者に対して行われ、かつ、かかる分配金はすべて、受益証券のクラス建通貨に応じて0.01米ドル、1円または0.01豪ドル未満の端数が切り捨てられます。分配は、分配基準日に宣言されます。疑義を避けるために付言すると、分配基準日（同日を除きます。）より前に受益証券の申込書を送付した受益者は、当該分配基準日において受益者名簿に登録され、したがって、当該分配基準日に終了する現分配期間に関し、分配を受ける資格を有します。分配基準日に受益証券の申込書を送付した受益者は、当該分配基準日において受益者名簿に登録されず、したがって、当該分配基準日に終了する現分配期間に関し、分配を受ける資格を有しません。

分配金は、一般的に、投資顧問会社の決定するところに従い、分配落ち日から起算して7ファンド営業日目に、日本における販売会社に対して支払われます（以下「**分配金支払日**」）といえます。）。豪ドルクラス受益証券に関して、分配金支払日がオーストラリア営業日に該当しない場合、分配はオーストラリア営業日である翌ファンド営業日に支払われます。日本における販売会社または販売取扱会社は、必要な支払処理を完了次第、投資者に対して分配金を支払います。

受益証券の各クラスの受益証券に関する分配金の支払いは、完全に投資顧問会社の裁量によります。また、受益証券の各クラスについて、常に分配期間ごとの分配が行われる旨の表明または保証はなされていません。疑義を避けるために付言すると、あるクラスの受益証券に関し、分配対象額が少額の場合、分配が行われないことがあります。

(ロ) 分配の推移

下記会計年度および第8会計年度における各月の分配の推移は、以下のとおりです。

(米ドルクラス受益証券)

分配実績はありません。

(豪ドルクラス受益証券)

	一口当たり分配金	
	豪ドル	円
第1会計年度 (2012年3月16日～2012年11月30日)	0.24	16
第2会計年度 (2012年12月1日～2013年11月30日)	0.33	22
第3会計年度 (2013年12月1日～2014年11月30日)	0.24	16
第4会計年度 (2014年12月1日～2015年11月30日)	0.24	16
第5会計年度 (2015年12月1日～2016年11月30日)	0.24	16
第6会計年度 (2016年12月1日～2017年11月30日)	0.24	16
第7会計年度 (2017年12月1日～2018年11月30日)	0.24	16
第8会計年度 (2018年12月1日～2019年11月30日)	0.24	16
2018年12月17日	0.02	1
2019年1月15日	0.02	1
2019年2月15日	0.02	1
2019年3月15日	0.02	1
2019年4月15日	0.02	1
2019年5月15日	0.02	1
2019年6月17日	0.02	1
2019年7月16日	0.02	1
2019年8月15日	0.02	1
2019年9月17日	0.02	1
2019年10月15日	0.02	1
2019年11月15日	0.02	1

(円クラス受益証券)

分配実績はありません。

(3) 販売及び買戻しの実績

各会計年度末における販売および買戻しの実績ならびに各会計年度末における発行済口数は、以下のとおりです。

(米ドルクラス受益証券)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第1会計年度	7,627,488 (7,627,488)	833,234 (833,234)	6,794,254 (6,794,254)
第2会計年度	896,714 (896,714)	5,034,416 (5,034,416)	2,656,552 (2,656,552)
第3会計年度	51,608 (51,608)	1,558,998 (1,558,998)	1,149,162 (1,149,162)
第4会計年度	1,243,682 (1,243,682)	1,175,305 (1,175,305)	1,217,539 (1,217,539)
第5会計年度	1,153,757 (1,153,757)	385,834 (385,834)	1,985,462 (1,985,462)
第6会計年度	597,304 (597,304)	683,017 (683,017)	1,899,750 (1,899,750)
第7会計年度	108,436 (108,436)	843,924 (843,924)	1,164,262 (1,164,262)
第8会計年度	0 (0)	138,413 (138,413)	1,025,849 (1,025,849)

(豪ドルクラス受益証券)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第1会計年度	936,301 (936,301)	141,613 (141,613)	794,688 (794,688)
第2会計年度	25,376 (25,376)	618,317 (618,317)	201,747 (201,747)
第3会計年度	0 (0)	114,352 (114,352)	87,395 (87,395)
第4会計年度	130,471 (130,471)	73,334 (73,334)	144,533 (144,533)
第5会計年度	300,297 (300,297)	14,322 (14,322)	430,507 (430,507)
第6会計年度	108 (108)	165,129 (165,129)	265,486 (265,486)
第7会計年度	137 (137)	150,434 (150,434)	115,189 (115,189)
第8会計年度	349,284 (349,284)	14 (14)	464,459 (464,459)

(円クラス受益証券)

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第1会計年度	596,389 (596,389)	54,271 (54,271)	542,118 (542,118)
第2会計年度	59,075 (59,075)	400,473 (400,473)	200,720 (200,720)
第3会計年度	24,334 (24,334)	89,120 (89,120)	135,934 (135,934)
第4会計年度	161,742 (161,742)	111,046 (111,046)	186,630 (186,630)
第5会計年度	409,194 (409,194)	111,248 (111,248)	484,576 (484,576)
第6会計年度	73,257 (73,257)	142,920 (142,920)	414,913 (414,913)
第7会計年度	71,013 (71,013)	106,074 (106,074)	379,851 (379,851)
第8会計年度	143,166 (143,166)	89,714 (89,714)	433,303 (433,303)

(注1) ()内の数字は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

(注2) 第1会計年度の販売口数は、当初申込期間に販売された販売口数を含みます。

3. 純資産額計算書

(2019年11月30日現在)

		米ドル／豪ドル／円 (IVを除く)	円 (IVを除く)
I. 資産総額		444,003,324.39米ドル	48,320,881,793
II. 負債総額		399,901,260.52米ドル	43,521,254,182
III. 純資産総額	米ドルクラス受益証券 豪ドルクラス受益証券 円クラス受益証券	9,905,860.02米ドル 4,028,086.39豪ドル 3,445,332,056円	1,078,054,746 266,216,230 —
IV. 発行済口数	米ドルクラス受益証券 豪ドルクラス受益証券 円クラス受益証券		1,025,849.36口 464,458.84口 433,303.42口
V. 一口当たり純資産 価格 (III/IV)	米ドルクラス受益証券 豪ドルクラス受益証券 円クラス受益証券	9.66米ドル 8.67豪ドル 8,807円	1,051 573 —

4. ファンドの経理状況

- a. ファンドの直近会計年度の日本語の財務書類は、国際財務報告基準に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものです（ただし、円換算部分を除きます。）。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第5項ただし書の規定の適用によるものです。
- b. ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるプライスウォーターハウスクーパース（ケイマン諸島）から監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含みます。）が当該財務書類に添付されています。
- c. ファンドの原文の財務書類は米ドルで表示されています。日本語の財務書類には、主要な事項について令和2年3月末日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル=108.83円）で換算された円換算額が併記されています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合があります。

独立監査人による監査報告書（監査報告書英語版からの和訳）

個別の資格としてではなくもっぱらDIAMケイマン・トラストのシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンドの受託銀行としてのCIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド御中

当監査法人の意見

当監査法人は、財務諸表が、国際財務報告基準に準拠して、2019年11月30日現在のDIAMケイマン・トラストのシリーズ・トラストであるDIAMケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド（以下、「ファンド」といいます。）の財政状態、ならびに同日終了年度に係る経営成績およびキャッシュ・フローの状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

監査対象

ファンドの財務諸表は、下記で構成されています。

- ・ 2019年11月30日現在の財政状態計算書、
- ・ 同日終了年度に係る包括利益計算書、
- ・ 同日終了年度に係る受益者帰属純資産変動計算書、
- ・ 同日終了年度に係るキャッシュ・フロー計算書、および
- ・ 重要な会計方針の要旨を含む財務諸表に対する注記

監査意見の根拠

当監査法人は、国際監査基準（以下、「ISA」といいます。）に従い監査を実施しました。当該基準における当監査法人の責任につきましては、本報告書の「財務諸表監査に対する監査人の責任」の区分で詳述しています。

当監査法人は、入手した監査証拠が、当監査法人の監査意見の基礎として十分かつ適切であると考えます。

独立性

当監査法人は、国際会計士倫理基準審議会が規定する職業会計士の倫理規定（以下、「IESBA Code」といいます。）に従い、ファンドから独立しています。当監査法人はIESBA Codeのその他の倫理上の責任も果たしています。

その他の情報

経営者はその他の情報に対して責任を負います。その他の情報は、投資運用附属明細表（未監査）に含まれる情報からなり、財務諸表および当監査法人の監査報告書は含まれません。

財務諸表に対する当監査法人の意見は、その他の情報を対象としておらず、よって、当監査法人はその他の情報に対していかなる種類の保証となる結論も表明しません。

財務諸表に対する当監査法人の監査に関連して、当監査法人の責任は、上記のその他の情報を通読し、その他の情報と、財務諸表または監査を通じて得た当監査法人の知るところとの間に著しい不整合が存在するか否か、あるいは重要な虚偽表示の兆候がないかを検討することにあります。当監査法人がその実施した作業に基づき、その他の情報に重要な虚偽表示があると結論付ける場合、当監査法人はその旨を報告する義務を負います。これに関し、当監査法人は報告すべき事項はありません。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者は、国際財務報告基準に準拠した財務諸表の作成および適正な表示、ならびに不正または誤謬を問わず重要な虚偽表示のない財務諸表の作成をするために経営者が必要と判断する内部統制の整備について責任を負います。

財務諸表の作成に関する経営者の責任は、継続企業として存続するファンドの能力を評価し、該当する場合には継続企業に関連する事項を開示し、経営者がファンドの清算または事業停止の意図を有するか、もしくはそれ以外に現実的な選択肢がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務諸表を作成することにあります。

財務諸表監査に対する監査人の責任

当監査法人の目的は、不正か誤謬かを問わず、全体としての財務諸表に重要な虚偽表示がないかについて合理的な確証を得て、当監査法人の意見を含めた監査報告書を提出することです。合理的な確証は、高い水準の確証ですが、ISAに準拠して実施した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではありません。虚偽表示は不正または誤謬から発生する可能性があり、個別または合計すると、財務諸表利用者が財務諸表に基づいて行う経済的意思決定に影響を及ぼすと合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断されます。

ISAに準拠した監査の一環として、当監査法人は監査を通して職業的専門家としての判断を行使し、監査を通じて常に職業的専門家としての懐疑心を保持することに加え、下記を実施します。

- ・不正または誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクを識別、評価し、それらのリスクに対応する監査手続を立案、実施し、当監査法人の意見の基礎を提供するのに十分かつ適切な監査証拠を入手します。不正は共謀、文書の偽造、意図的な除外、虚偽の陳述、内部統制の無効化を伴う可能性があるため、不正による重要な虚偽表示を発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高いです。
- ・状況に適した監査手続を立案するために監査に関連性のある内部統制を理解しますが、ファンドの内部統制の有効性に対する意見を表明することを目的とはしません。
- ・用いられた会計方針の適切性および経営者が行った会計上の見積りと関連する開示の合理性を評価します。
- ・経営者が継続企業の前提に基づき会計処理したことの適切性、および入手した監査証拠に基づき、継続企業として存続するファンドの能力に著しい疑義をもたらす事象や状況に関連する重要な不確実性の有無について結論付けます。重要な不確実性が存在すると結論付ける場合には、監査報告書において財務諸表に含まれる関連する開示を参照するか、または、関連する開示が妥当でない場合には、意見を変更することが要求されます。当監査法人の結論は監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいております。ただし、将来の事象または状況により、ファンドが継続企業として存続できなくなることがあります。
- ・開示を含む財務諸表の全体的な表示、構成および内容、ならびに、財務諸表が基礎となる取引や事象を適正に表示しているか否かを評価します。

当監査法人は、特に監査の範囲とその実施時期の計画、および監査上の重要な発見事項（監査の過程での識別した内部統制の重要な不備を含む）について統治責任者とコミュニケーションを行います。

その他

意見を含む本報告書は、契約における条件に基づきファンドのためにのみ作成され、それ以外の目的では作成されていません。当監査法人は、事前に書面での当監査法人の同意により明確に承諾される場合を除き、本意見を提出することで、当該目的以外のいかなる目的、または本報告書の提示を受け、若しくは本報告書を受領する第三者について、いかなる責任を負うことはありません。

プライスウォーターハウスクーパース

2020年5月15日

(注)

本監査報告書は、英語を原語として作成された監査報告書の和訳です。情報、見解または意見のあらゆる解釈においては、監査報告書英語版が優先されます。



Independent Auditor's Report

To CIBC Bank and Trust Company (Cayman) Limited
not in its individual capacity but solely as Trustee of DIAM Cayman Trust – Aspect Managed Futures Fund,
a series trust of DIAM Cayman Trust

Our opinion

In our opinion, the financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of DIAM Cayman Trust – Aspect Managed Futures Fund (the "Class Fund"), a series trust of DIAM Cayman Trust as at 30 November 2019, and its financial performance and its cash flows for the year then ended in accordance with International Financial Reporting Standards.

What we have audited

The Class Fund's financial statements comprise:

- the statement of financial position as at 30 November 2019;
- the statement of comprehensive income for the year then ended;
- the statement of changes in net assets attributable to unitholder for the year then ended;
- the statement of cash flows for the year then ended; and
- the notes to the financial statements, which include a summary of significant accounting policies.

Basis for opinion

We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing (ISAs). Our responsibilities under those standards are further described in the *Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements* section of our report.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion.

Independence

We are independent of the Class Fund in accordance with the International Ethics Standards Board for Accountants' Code of Ethics for Professional Accountants (IESBA Code). We have fulfilled our other ethical responsibilities in accordance with the IESBA Code.

Other Information

Management is responsible for the other information. The other information comprises the Supplementary Schedule of Investments (Unaudited) on pages 38-44 (but does not include the financial statements and our auditor's report thereon).

Our opinion on the financial statements does not cover the other information and we do not express any form of assurance conclusion thereon.

PricewaterhouseCoopers, 18 Forum Lane, Camana Bay, P.O. Box 258, Grand Cayman, Cayman Islands,
KY1-1104, T: +1 (345) 949 7000, F: +1 (345) 949 7352, www.pwc.com/ky



Independent Auditor's Report (continued)

To CIBC Bank and Trust Company (Cayman) Limited
not in its individual capacity but solely as Trustee of DIAM Cayman Trust – Aspect Managed Futures Fund,
a series trust of DIAM Cayman Trust

In connection with our audit of the financial statements, our responsibility is to read the other information identified above and, in doing so, consider whether the other information is materially inconsistent with the financial statements or our knowledge obtained in the audit, or otherwise appears to be materially misstated. If, based on the work we have performed, we conclude that there is a material misstatement of this other information, we are required to report that fact. We have nothing to report in this regard.

Responsibilities of management for the financial statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of the financial statements in accordance with International Financial Reporting Standards, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

In preparing the financial statements, management is responsible for assessing the Class Fund's ability to continue as a going concern, disclosing, as applicable, matters related to going concern and using the going concern basis of accounting unless management either intends to liquidate the Class Fund or to cease operations, or has no realistic alternative but to do so.

Auditor's responsibilities for the audit of the financial statements

Our objectives are to obtain reasonable assurance about whether the financial statements as a whole are free from material misstatement, whether due to fraud or error, and to issue an auditor's report that includes our opinion. Reasonable assurance is a high level of assurance, but is not a guarantee that an audit conducted in accordance with ISAs will always detect a material misstatement when it exists. Misstatements can arise from fraud or error and are considered material if, individually or in the aggregate, they could reasonably be expected to influence the economic decisions of users taken on the basis of these financial statements.

As part of an audit in accordance with ISAs, we exercise professional judgment and maintain professional scepticism throughout the audit. We also:

- Identify and assess the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error, design and perform audit procedures responsive to those risks, and obtain audit evidence that is sufficient and appropriate to provide a basis for our opinion. The risk of not detecting a material misstatement resulting from fraud is higher than for one resulting from error, as fraud may involve collusion, forgery, intentional omissions, misrepresentations, or the override of internal control.
- Obtain an understanding of internal control relevant to the audit in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Class Fund's internal control.
- Evaluate the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates and related disclosures made by management.



Independent Auditor's Report (continued)

To CIBC Bank and Trust Company (Cayman) Limited
not in its individual capacity but solely as Trustee of DIAM Cayman Trust – Aspect Managed Futures Fund,
a series trust of DIAM Cayman Trust

- Conclude on the appropriateness of management's use of the going concern basis of accounting and, based on the audit evidence obtained, whether a material uncertainty exists related to events or conditions that may cast significant doubt on the Class Fund's ability to continue as a going concern. If we conclude that a material uncertainty exists, we are required to draw attention in our auditor's report to the related disclosures in the financial statements or, if such disclosures are inadequate, to modify our opinion. Our conclusions are based on the audit evidence obtained up to the date of our auditor's report. However, future events or conditions may cause the Class Fund to cease to continue as a going concern.
- Evaluate the overall presentation, structure and content of the financial statements, including the disclosures, and whether the financial statements represent the underlying transactions and events in a manner that achieves fair presentation.

We communicate with those charged with governance regarding, among other matters, the planned scope and timing of the audit and significant audit findings, including any significant deficiencies in internal control that we identify during our audit.

Other Matter

This report, including the opinion, has been prepared for and only for the Class Fund in accordance with the terms of our engagement letter and for no other purpose. We do not, in giving this opinion, accept or assume responsibility for any other purpose or to any other person to whom this report is shown or into whose hands it may come save where expressly agreed by our prior consent in writing.

PriceWaterhouseCoopers

15 May 2020

(1) 貸借対照表

D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド財政状態計算書2019年11月30日現在

(米ドル表示)

	2019年11月30日現在		2018年11月30日現在	
	米ドル	千円	米ドル	千円
資産				
損益を通じて公正価値で測定する金融資産 (注3、4、9)	\$ 34,422,151	3,746,163	\$ 29,211,619	3,179,100
証拠金勘定	12,807,128	1,393,800	12,675,894	1,379,518
現金および現金同等物(注2、9)	2,267,186	246,738	1,723,208	187,537
未取受入れ出資金	3,619,163	393,874	76	8
その他の資産	1,431	156	1,431	156
資産合計	<u>\$ 53,117,059</u>	<u>5,780,730</u>	<u>\$ 43,612,228</u>	<u>4,746,319</u>
負債				
損益を通じて公正価値で測定する金融負債 (注3、4、9)	\$ 4,575,051	497,903	\$ 6,481,921	705,427
ブローカーに対する債務	537,372	58,482	298,614	32,498
未払代行協会員および販売報酬(注6)	67,649	7,362	66,609	7,249
未払専門家報酬	63,000	6,856	62,850	6,840
未払副投資顧問報酬(注6)	54,540	5,936	47,044	5,120
未払投資顧問報酬(注6)	44,862	4,882	44,172	4,807
未払管理事務代行報酬(注6)	14,874	1,619	15,362	1,672
未払受託報酬(注6)	3,309	360	3,660	398
未払管理報酬(注6)	1,960	213	2,220	242
未払保管報酬(注6)	1,424	155	1,402	153
未払買戻金	225,952	24,590	389,436	42,382
未払費用	31,791	3,460	27,647	3,009
負債(受益者に帰属する純資産を除く)	5,621,784	611,819	7,440,937	809,797
受益者に帰属する純資産	47,495,275	5,168,911	36,171,291	3,936,522
負債合計	<u>\$ 53,117,059</u>	<u>5,780,730</u>	<u>\$ 43,612,228</u>	<u>4,746,319</u>

個人の資格ではなく、もっぱらD I A Mケイマン・トラストの受託銀行として、C I B Cバンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッドを代表して発行を承認する。

ロニー・カスバート

日付： 2020年5月15日

ジェオビー・マテウム

個人の資格ではなく、もっぱらD I A Mケイマン・トラストの管理会社として、クイーンズゲート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・リミテッドを代表して発行を承認する。

カルラ・ボッデン

日付： 2020年5月15日

シネイド・ワーグナー

添付の注記は当財務諸表の一部です。

(2) 損益計算書

D I A M ケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド

包括利益計算書

2019年11月30日終了年度

(米ドル表示)

	2019年11月30日終了年度		2018年11月30日終了年度	
	米ドル	千円	米ドル	千円
収益				
受取利息	\$ 809,608	88,110	\$ 750,751	81,704
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および 金融負債の公正価値の純変動額 (注3)	7,559,156	822,663	(8,157,818)	(887,815)
純利益／(純損失)	8,368,764	910,773	(7,407,067)	(806,111)
費用				
副投資顧問報酬 (注6)	600,029	65,301	720,452	78,407
代行協会員および販売報酬 (注6)	399,653	43,494	478,003	52,021
投資顧問報酬 (注6)	251,781	27,401	301,142	32,773
専門家報酬	151,489	16,487	93,518	10,178
取引仲介手数料	113,209	12,321	160,879	17,508
管理事務代行報酬 (注6)	89,002	9,686	89,002	9,686
受託報酬 (注6)	19,173	2,087	18,277	1,989
管理報酬 (注6)	14,772	1,608	15,042	1,637
保管報酬 (注6)	7,993	870	9,560	1,040
成功報酬 (注6)	-	-	246,837	26,863
その他費用	64,143	6,981	42,145	4,587
運営費用合計	1,711,244	186,235	2,174,857	236,690
運営利益／(損失)	6,657,520	724,538	(9,581,924)	(1,042,801)
財務費用				
受益者への分配 (注7)	(24,041)	(2,616)	(41,075)	(4,470)
受益者に帰属する運用による純資産の純増加／ (純減少)	\$ 6,633,479	721,922	\$ (9,622,999)	(1,047,271)

添付の注記は当財務諸表の一部です。

D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド

受益者帰属純資産変動計算書

2019年11月30日終了年度

(米ドル表示)

	2019年11月30日終了年度		2018年11月30日終了年度	
	米ドル	千円	米ドル	千円
受益者帰属純資産				
期首残高	\$ 36,171,291	3,936,522	\$ 56,417,703	6,139,939
当期発行受益証券(注8)	13,326,602	1,450,334	7,023,498	764,367
当期買戻受益証券(注8)	(8,636,097)	(939,866)	(17,646,911)	(1,920,513)
受益者に帰属する運用による純資産の当期純増加 ／(純減少)	<u>6,633,479</u>	<u>721,922</u>	<u>(9,622,999)</u>	<u>(1,047,271)</u>
期末残高	<u>\$ 47,495,275</u>	<u>5,168,911</u>	<u>\$ 36,171,291</u>	<u>3,936,522</u>

添付の注記は当財務諸表の一部です。

D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド

キャッシュ・フロー計算書

2019年11月30日終了年度

(米ドル表示)

	2019年11月30日終了年度		2018年11月30日終了年度	
	米ドル	千円	米ドル	千円
営業活動				
受益者に帰属する運用による純資産の純増加／ (純減少)	\$ 6,633,479	721,922	\$ (9,622,999)	(1,047,271)
調整：				
受取利息	(809,608)	(88,110)	(750,751)	(81,704)
受益者への分配	24,041	2,616	41,075	4,470
	<u>5,847,912</u>	<u>636,428</u>	<u>(10,332,675)</u>	<u>(1,124,505)</u>
損益を通じて公正価値で測定する金融資産の(純 増加)／純減少	(5,210,532)	(567,062)	15,178,752	1,651,904
証拠金勘定の純増加／(純減少)	(131,234)	(14,282)	5,166,574	562,278
その他資産の純増加	-	-	(59)	(6)
損益を通じて公正価値で測定する金融負債の純減 少	(1,906,870)	(207,525)	(335,359)	(36,497)
ブローカーに対する債務の純増加／(純減少)	238,758	25,984	(1,016,328)	(110,607)
その他未払金の純増加／(純減少)	12,443	1,354	(96,605)	(10,514)
運用による現金の(純減少)／純増加	<u>(1,149,523)</u>	<u>(125,103)</u>	<u>8,564,300</u>	<u>932,053</u>
受取利息	<u>809,608</u>	<u>88,110</u>	<u>750,751</u>	<u>81,704</u>
営業活動によるキャッシュ・フローの(純 減少)／純増加	<u>(339,915)</u>	<u>(36,993)</u>	<u>9,315,051</u>	<u>1,013,757</u>
財務活動				
受益者からの申込金受入	9,707,515	1,056,469	8,214,007	893,930
受益者への買戻代金支払	(8,799,581)	(957,658)	(18,305,405)	(1,992,177)
受益者への分配支払	(24,041)	(2,616)	(41,075)	(4,470)
財務活動によるキャッシュ・フローの純増 加／(純減少)	<u>883,893</u>	<u>96,194</u>	<u>(10,132,473)</u>	<u>(1,102,717)</u>
現金および現金同等物の純増加／(純減少)	<u>543,978</u>	<u>59,201</u>	<u>(817,422)</u>	<u>(88,960)</u>
現金および現金同等物の期首残高	<u>1,723,208</u>	<u>187,537</u>	<u>2,540,630</u>	<u>276,497</u>
現金および現金同等物の期末残高	<u>\$ 2,267,186</u>	<u>246,738</u>	<u>\$ 1,723,208</u>	<u>187,537</u>

添付の注記は当財務諸表の一部です。

1. 一般事項

D I A Mケイマン・トラスト（以下、「トラスト」といいます。）は、2011年6月29日付けの基本信託証券（以下、「信託証券」といいます。）に従い、ケイマン諸島法に基づき設定された免税のユニット・トラストです。D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド（以下、「ファンド」といいます。）は、2012年3月16日に運営を開始しました。トラストは2011年6月29日付けで、ケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法に従い登録されました。トラストの営業拠点は、ケイマン諸島、グランド・ケイマン KY 1-1107、ジョージ・タウン、D rロイズ・ドライブ11、私書箱694を住所とするC I B Cファイナンシャル・センターです。トラストは、2012年2月3日、金融商品取引法に基づき関東財務局局長に対して有価証券届出書を、また、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき金融庁長官に登録申請書をファンドに代わり提出しました。

ファンドは、トラストの傘下に設定されたシリーズ・トラストです。ファンドの投資目的は、厳密なリスク管理体制内で、従来の株式債券市場の全般的な変動に左右されずに、中期的な信託財産の成長を図ることです。副投資顧問会社（注記6）は、完全にシステム化され幅広く分散されたグローバルなトレーディングシステムを採用し、主に派生商品の活用を通じ、多様な金融商品やその他資産（株式、株式指数、債務証券（債券を含みます。）、通貨、金利および商品（エネルギー、金属および農産物を含みます。）を含みますが、これに限定しません。）の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な戦略を展開します。

2. 重要な会計方針

以下は財務諸表の作成に採用された重要な会計方針です。特に明記されない限り、これらの会計方針が当期間を通して採用されます。

作成の基準

ファンドの財務諸表は、国際会計基準審議会によって作成された国際財務報告基準（以下、「I F R S」といいます。）に従って作成しています。財務諸表は、取得原価主義に基づいて作成され、金融資産および金融負債（金融派生商品を含みます。）は損益を通じて公正価値によって再評価されます。

I F R Sに従って財務諸表を作成するためには、特に重要な会計上の見積もりを使用する必要があります。また、ファンドの会計方針を採用する過程において、受託銀行が判断する必要があります。高度な判断や複雑性を含む分野、あるいは仮定や評価が財務諸表にとって重要であるという分野は注記2、9、および10に記載されています。

この書類において純資産という表現は、特に明記されない限り、参加型受益証券保有者に帰属する純資産です。注記8に記載されている各クラスの参加型受益証券に係る一口当たりの純資産は、クラスごとの総資産から総負債を控除した金額を、各クラスの参加型受益証券で残存している受益証券の口数で除して算出されます。

(a) 2018年12月1日現在採用の基準、およびその変更

IFRS第9号「金融商品」は2018年1月1日以後に開始する事業年度において適用となりました。当該基準は金融資産・負債の分類、測定、および認識の中止について規定しており、IAS第39号の多数の分類および測定モデルを置き換えます。

負債性資産の分類と測定は金融資産の管理についての企業の事業モデルおよび金融資産の契約上のキャッシュ・フローの特性に基づいて行われます。事業モデルの目的が、金融資産の契約上のキャッシュ・フローを回収することで、かつ、金融商品の契約上のキャッシュ・フローが元本および利息の支払いのみである（「SPPIの要件」）場合には、その負債性資産は償却原価で測定されます。事業モデルの目的が契約上のSPPIの要件を満たすキャッシュ・フローの回収および売却の場合には、その負債性金融商品は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定されます。その他の負債性金融商品はすべて、損益を通じて公正価値で測定されます。企業は、当初認識時において、指定をしなければ生じるであろう測定または認識の不一致を除去または大幅に削減する場合には、金融資産を損益を通じて公正価値で測定する取消不能の指定をすることができます。デリバティブおよび資本性金融商品は、損益を通じて公正価値で測定され、トレーディング目的で保有されていない資本性金融商品はその他の包括利益を通じて公正価値で測定するという取消不能の選択をすることができます。IFRS第9号は、新たな予想信用損失（「ECL」）減損モデルも示しています。

IFRS第9号はファンドによって遡及的に適用されていますが、下記の通り、金融商品の分類または測定に変更はありませんでした。ファンドの投資ポートフォリオは継続して損益を通じて公正価値で測定され、回収のために保有するその他の金融資産は継続して償却原価で測定されます。新たな減損モデルによる重要な影響は生じませんでした。

上記の他に、2018年12月1日に開始する事業年度において、初めて効力が生じる基準や、基準および解釈への変更で、ファンドの財務諸表に重要な影響を及ぼすと思われるものはありません。

(b) 2018年12月1日に開始する期間において公表されているが、未実施であり、かつ早期適用していない新基準、修正、および解釈

2018年12月1日以後に開始する事業年度において、数多くの新基準、基準の修正、解釈が適用となりますが、当財務諸表には採用されていません。ファンドの財務諸表に重大な影響を及ぼすと思われるものはありません。

ファンドの重要な会計方針は、（特に明記しない限り）すべての期間において、以下のとおりです。

損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債

(a) 分類

ファンドは、投資内容を損益を通じて公正価値で測定する債務証券、派生商品に分類します。ファンドは、金融資産の管理についてのファンドの事業モデルおよび金融資産の契約上のキャッシュ・フローの特性に基づいて投資を分類しています。金融資産はポートフォリオで管理され、その成果は公正価値に基づき評価されます。ファンドは主に公正価値情報に注目しており、当該情報を金融資産の成果評価や意思決定のために使用しています。ファンドの負債性証券の契約上のキャッ

シュ・フローは元本と金利のみですが、これらの証券は契約上のキャッシュ・フローの回収、または契約上のキャッシュ・フローの回収および売却の双方を目的として保有されているものではありません。契約上のキャッシュ・フローの回収はファンドの事業モデルの目的を達成する上で付随的に生じるものです。

正または負の公正価値を有する派生商品契約は、損益を通じて公正価値で測定する金融資産、金融負債としてそれぞれ表示されています。

そのため、ファンドはすべての投資ポートフォリオを、損益を通じて公正価値で測定する金融資産または金融負債に分類しています。ファンドの、受益者に帰属する純資産の分配義務は、償還可能金額で計上されており、当該金額は公正価値に近似します。その他のすべての金融資産および金融負債は償却原価で測定されるものとして分類されます。

(b) 認識、認識の中止、および測定

投資の通常の購入と売却は、取引日、つまりファンドがその投資を購入あるいは売却することを約束した日に認識されます。損益を通じて公正価値で測定する金融資産と金融負債は、最初は公正価値で認識されます。取引経費は、包括利益計算書に計上され費用化されます。

金融資産は、投資から現金の支払を受ける権利の有効期限が満了となり、あるいはファンドが実質上すべてのリスクと所有者利益を譲渡したときに、認識を中止します。

最初の認識に続いて、損益を通じて公正価値評価されたすべての金融資産と金融負債は、公正価値で測定されます。「損益を通じて公正価値で測定する金融資産あるいは金融負債」分類の公正価値の変動から生じる損益は、発生した期間に損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債の公正価値の純変動額として包括利益計算書に表示されます。

(c) 公正価値評価

活発な市場がある有価証券は、その有価証券が取引された時に取引所で値付けされる買い気配値を、あるいは、取引所で取引されない投資については、主要な値付け業者によって提示される価格を参考とし、公正価値で評価されます。

ファンドは、先渡契約および先物契約からなる派生取引を行います。これらの派生取引は、財政状態計算書に公正価値で計上され、実現損益および未実現損益は包括利益計算書に計上されます。公正価値は一般的に、市場価格、ブローカーあるいは証券会社の相場価格に基づきます。店頭派生商品の公正価値は、金利、通貨、株式、および商品と、それらの時間的価値、流動性・変動性要素に係る現在の市況データを考慮に入れた価値評価モデルに基づいて決定されます。

担保 ファンドの現金担保は、証拠金勘定として財政状態計算書に計上されますが、現金および現金同等物には含まれません。証拠金勘定は、取引所先物取引および外国為替証拠金取引に関して保有される委託証拠金です。

現金および現金同等物 現金および現金同等物は、要求払預金、通知預金、および3ヶ月以内に満期が到来する預金を含みます。2019年11月30日現在のファンドの現金および現金同等物は、ファン

下の保管銀行において管理されています。（注記9）

ブローカーに対する債務 ブローカーに対する債務の額は、証券会社との未決済の派生取引から生じる未払金の残高です。

金融商品の相殺 認識された金額を相殺するという法的に強制可能な権利を有し、かつ純額で決済し、または資産の実現と負債の決済を同時に行うことを意図する場合、金融資産・負債を相殺し、財政状態計算書に純額が計上されます。

費用 費用は発生基準で計上されます。

受取利息および損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じる受取利息 受取利息は、実効金利法に基づき、発生基準で計上されます。受取利息は現金および現金同等物、証拠金から生じる利息を含みます。損益を通じて公正価値で測定する金融資産から生じる受取利息は、負債性証券から生じる利息を含みます。

税金 ケイマン諸島の法律において、所得、財産、譲渡益についての税金、またはその他ケイマン諸島の税金がファンドに課されることはありません。よって、財務諸表において、納税引当金を計上していません。ファンドの受取利息について、通常、海外の所得税が源泉徴収されます。利息に係る源泉所得税は包括利益計算書で個別の科目として記載されます。

ファンドは、実質的にケイマン諸島以外の国に所在する企業体が発行する有価証券に投資をします。これらの多くの外国では、ファンドのような非居住者に対して譲渡益課税が適用されます。一般的に、これらの譲渡益に対する税金は申告課税方式で金額が決定され、ファンドの取引証券会社によってこれらの税金が源泉方式で控除されることはありません。

2019年11月30日現在において、ファンドは、海外における譲渡益に係る未払税金債務はゼロであると測定しています（2018年も該当ありません）。

分配 受益者への分配は、包括利益計算書でその他費用として分類されます。（注記7）

外貨取引 アメリカドル（以下、「米ドル」といいます。）以外の外貨建て資産および負債は、評価日の実勢為替レートで換算されます。外貨建て収益および費用は、取引日の為替レートで換算されます。為替差損益は、発生する期間に係る包括利益計算書に含まれます。

損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債に係る為替差損益は、包括利益計算書において、「損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債の公正価値の純変動額」に記載されます。

機能通貨および表示通貨 ファンドの財務諸表に含まれる科目は、機能する主要な経済環境の通貨（以下、「機能通貨」といいます。）である米ドルを使って測定されます。大部分の投資は米ドル建てであり、ファンドの発行および償還の一部は米ドル建てで行われます。さらに、ファンドは表示通貨として米ドルが適用されます。

参加型受益証券 ファンドは3種類の受益証券（注記8）を発行しており、保有者の選択により償還できるが、同一の権利を有していません。この参加型受益証券は、金融負債として分類されます。参加型受益証券は、営業日であればいつでも、ファンドの純資産の持分比率に応じた現金と交換に、受益者によってファンドへの買戻しが請求されます。参加型受益証券は、受益者がファンドに受益証券を戻す権利を履行した場合に、財政状態計算書の日付において支払うべき償還金額で計上されます。

3. 損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債

	2019年11月30日	2018年11月30日
売買目的で保有される金融資産		
米国財務省短期証券	\$ 29,556,204	\$ 23,135,751
派生商品	4,865,947	6,075,868
売買目的で保有される金融資産合計	\$ 34,422,151	\$ 29,211,619
売買目的で保有される金融負債		
派生商品	\$ (4,575,051)	\$ (6,481,921)
売買目的で保有される金融負債合計	\$ (4,575,051)	\$ (6,481,921)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債の公正価値の純変動額	2019年11月30日 終了年度	2018年11月30日 終了年度
実現額	\$ 6,865,761	\$ (6,620,054)
未実現額の変動	693,395	(1,537,764)
収益／（損失）合計	\$ 7,559,156	\$ (8,157,818)

2019年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する金融資産は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
米国財務省証券への投資		
米国財務省短期証券	\$ 29,556,204	62.23 %
米国財務省証券への投資合計	\$ 29,556,204	62.23 %
派生取引		
先渡取引	\$ 2,321,285	4.89 %
先物取引	2,544,662	5.36 %
派生取引合計	\$ 4,865,947	10.25 %
損益を通じて公正価値で測定する金融資産の合計	\$ 34,422,151	72.48 %

2019年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する金融負債は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
派生取引		
先渡取引	\$ (2,541,594)	(5.35) %
先物取引	(2,033,457)	(4.28) %
派生取引合計	\$ (4,575,051)	(9.63) %
損益を通じて公正価値で測定する金融負債の合計	\$ (4,575,051)	(9.63) %

2018年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する金融資産は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
米国財務省証券への投資		
米国財務省短期証券	\$ 23,135,751	64.21 %
米国財務省証券への投資合計	\$ 23,135,751	64.21 %
派生取引		
先渡取引	\$ 3,827,537	10.62 %
先物取引	2,248,331	6.24 %
派生取引合計	\$ 6,075,868	16.86 %
損益を通じて公正価値で測定する金融資産の合計	\$ 29,211,619	81.07 %

2018年11月30日現在、損益を通じて公正価値で測定する金融負債は次のとおりです。

	公正価値	純資産に対する割合
派生取引		
先渡取引	\$ (4,740,410)	(13.16)%
先物取引	(1,741,511)	(4.83)%
派生取引合計	\$ (6,481,921)	(17.99)%
損益を通じて公正価値で測定する金融負債の合計	\$ (6,481,921)	(17.99)%

4. 金融派生商品

通常の取引において、ファンドは様々な金融商品を取引し、簿外リスクを伴う様々な投資活動を行います。これらの金融商品は、先物および通貨先渡契約を含みます。先物契約は取引所で取引されますが、通貨先渡契約は事前承認を受けた相手に対する契約の約定です。

先物および通貨先渡契約は、将来の特定の日に、特定の価格あるいは利回りで引渡す、または受け取ることを相手と同意して、証券、商品、通貨、あるいはその他金融商品を先延ばしで引渡しを行うものです。マーケットリスクおよび信用リスクがこれらの契約に伴い発生します。先物の取引では、契約締結に伴って、参加者に当初委託証拠金と変動証拠金の両方を取引所に直接払いこむことが要求されますので、相手先に対する信用供与は限定されます。

ファンドは、先物および通貨先渡契約の証拠金勘定に担保を維持することが要求されます。証拠金として預け入れられている金額は、使用と市場性という観点から制限されています。この金額は、ファンドによって厳密にモニターされています。

ファンドは下記の派生商品を保有しています。

(a) 先物

先物は、将来の日において、組織化された市場において確立された特定の価格で金融商品を購入あるいは売却するという契約上の義務です。先物契約は現金あるいは市場性のある証券を担保とし、先物契約の価値の変動額は取引所において毎日決済されます。先物は純額で決済されます。

2019年11月30日現在、ファンドは取引所に上場する先物で下記の投資を行っています。

	想定元本－純額	公正価値
公正価値純額による先物契約		
通貨	\$ (1, 189, 169)	\$ 110
エネルギー	(550, 446)	352, 698
金融	295, 094, 792	(168, 361)
穀物	(1, 048, 723)	(43, 217)
インデックス	43, 646, 499	659, 718
ロンドン金属	(980, 981)	(419, 015)
材料	(163, 400)	(450)
畜産物	846, 228	48, 430
金属	2, 232, 492	81, 292
公正価値純額による先物契約合計額	\$ 337, 887, 292	\$ 511, 205

2018年11月30日現在、ファンドは取引所に上場する先物で下記の投資を行っています。

	想定元本－純額	公正価値
公正価値純額による先物契約		
通貨	\$ (1, 643, 670)	\$ 16, 259
エネルギー	164, 515	348, 715
金融	(12, 057, 023)	228, 334
穀物	(8, 305, 967)	75, 155
インデックス	6, 110, 667	44, 930
工業	(49, 595)	(981)
ロンドン金属	(3, 740, 804)	(159, 171)
材料	(473, 460)	(4, 585)
畜産物	(1, 218, 518)	(27, 163)
金属	(3, 285, 645)	(14, 673)
公正価値純額による先物契約合計額	\$ (24, 499, 500)	\$ 506, 820

(b) 先渡契約

下記は2019年11月30日現在の未決済の通貨先渡契約の要約です。

	満期日	未実現利益 (損失) 純額
オーストラリアドル建てクラス		
3,985,093豪ドル買い、2,710,838米ドル売り	2019年12月30日	\$ (12,975)
円建てクラス		
3,406,029,100円買い、31,393,815米ドル売り	2019年12月30日	(203,032)
ファンド		
0豪ドル買い、128,238米ドル売り	2019年12月18日	(128,237)
1,195,412カナダドル買い、900,000米ドル売り	2020年3月18日	1,011
1,952,307スイスフラン買い、1,800,000ユーロ売り	2019年12月18日	(30,589)
21,704スイスフラン買い、0米ドル売り	2019年12月18日	21,732
21,253中国元買い、0米ドル売り	2019年12月18日	3,021
3,526,873中国元買い、500,000米ドル売り	2020年3月18日	44
41,093,152チェココルナ買い、1,600,000ユーロ売り	2020年3月18日	33
444,713チェココルナ買い、0ユーロ売り	2019年12月18日	19,197
3,300,000ユーロ買い、1,102,468,630ハンガリーフォリント売り	2020年3月18日	9,975
3,850,000ユーロ買い、39,297,852ノルウェークローネ売り	2019年12月18日	(16,667)
0ユーロ買い、13,788ポンド売り	2019年12月18日	(17,844)
0ユーロ買い、6,122,802円売り	2019年12月18日	(55,997)
0ユーロ買い、393,697スウェーデンクローナ売り	2019年12月18日	(41,162)
2,459,613ポンド買い、2,850,000ユーロ売り	2020年3月18日	29,514
200,000ポンド買い、258,311米ドル売り	2020年3月18日	1,275
0ポンド買い、219,699米ドル売り	2019年12月18日	(219,699)
5,399,904ハンガリーフォリント買い、0ユーロ売り	2019年12月18日	17,807
29,417,907,109インドネシアルピア買い、2,000,000米ドル売り	2019年12月18日	81,641
7,936,800イスラエルシェケル買い、2,300,000米ドル売り	2020年3月18日	(2,826)
50,683,948インドルピー買い、700,000米ドル売り	2020年3月18日	(1,497)
143,838,755円買い、1,200,000ユーロ売り	2020年3月18日	(8,668)
701,389メキシコペソ買い、0米ドル売り	2019年12月18日	35,771
91,675,725メキシコペソ買い、4,650,000米ドル売り	2020年3月18日	(35,358)
0ペルーソル買い、1,015米ドル売り	2019年12月18日	(1,015)
38,214,211フィリピンペソ買い、750,000米ドル売り	2020年3月18日	(616)
0フィリピンペソ買い、9,049米ドル売り	2019年12月18日	(9,049)
15,960,586ポーランドズロチ買い、3,700,000ユーロ売り	2019年12月18日	(5,867)
258,126,927ロシアルーブル買い、3,900,000米ドル売り	2019年12月18日	104,567
18,954,410スウェーデンクローナ買い、1,800,000ユーロ売り	2020年3月18日	(6,387)
1,839,682シンガポールドル買い、1,350,000米ドル売り	2020年3月18日	(3,333)
709シンガポールドル買い、0米ドル売り	2019年12月18日	518
56,405,871タイバーツ買い、1,850,000米ドル売り	2019年12月18日	17,223
13,060,838トルコリラ買い、2,200,000米ドル売り	2019年12月18日	62,697
0台湾ドル買い、51,928米ドル売り	2019年12月18日	(51,928)
1,700,000米ドル買い、1,147,849,340チリペソ売り	2019年12月18日	272,259

1,850,000米ドル買い、56,080,720台湾ドル売り	2020年3月18日	(2,313)
1,950,000米ドル買い、6,798,983,675コロンビアペソ売り	2019年12月18日	18,620
10,067,430米ドル買い、14,800,000豪ドル売り	2020年3月18日	28,265
2,450,000米ドル買い、10,216,146ブラジルレアル売り	2019年12月18日	42,580
27,180米ドル買い、0インドルピー売り	2019年12月18日	27,180
3,400,000米ドル買い、367,796,929円売り	2020年3月18日	16,884
3,570,870米ドル買い、5,700,000ニュージーランドドル売り	2019年12月18日	(88,056)
350,000米ドル買い、411,104,820韓国ウォン売り	2020年3月18日	1,227
4,100,000米ドル買い、4,056,534スイスフラン売り	2020年3月18日	9,811
42,588米ドル買い、0ユーロ売り	2019年12月18日	42,588
500,000米ドル買い、1,702,953ベルーソル売り	2020年3月18日	1,822
8,553,529米ドル買い、7,700,000ユーロ売り	2020年3月18日	8,173
0米ドル買い、89,954カナダドル売り	2019年12月18日	(67,773)
0米ドル買い、20,897イスラエルシェケル売り	2019年12月18日	(6,017)
0米ドル買い、5,376,195円売り	2019年12月18日	(49,169)
0米ドル買い、47,491,425韓国ウォン売り	2019年12月18日	(40,209)
15,683,833南アフリカランド買い、1,050,000米ドル売り	2020年3月18日	5,019
80,983南アフリカランド買い、0米ドル売り	2019年12月18日	5,517
		\$ (220,309)

下記は2018年11月30日現在の未決済の通貨先渡契約の要約です。

	満期日	未実現利益 (損失) 純額
オーストラリアドル建てクラス		
867,094豪ドル買い、629,800米ドル売り	2018年12月28日	\$ 3,666
76米ドル買い、103豪ドル売り	2018年12月4日	—
円建てクラス		
2,884,732,038円買い、25,563,532米ドル売り	2018年12月28日	(108,633)
42,159,570円買い、370,417米ドル売り	2018年12月3日	641
2,152,861円買い、19,019米ドル売り	2018年12月4日	(71)
ファンド		
0豪ドル買い、60,161米ドル売り	2018年12月19日	(60,161)
3,900,000豪ドル買い、2,861,113米ドル売り	2019年3月20日	(7,867)
1,914,145スイスフラン買い、1,700,000ユーロ売り	2019年3月20日	(5,681)
0ユーロ買い、97,851スイスフラン売り	2018年12月19日	(98,040)
0ユーロ買い、99,730ポンド売り	2018年12月19日	(127,191)
0ユーロ買い、8,619,881ハンガリーフォリント売り	2018年12月19日	(30,162)
0ユーロ買い、3,330,126円売り	2018年12月19日	(29,352)
100,000ユーロ買い、12,864,623円売り	2019年3月20日	(101)
3,500,000ユーロ買い、36,141,423スウェーデンクローナ売り	2019年3月20日	(7,498)
5,300,000ユーロ買い、59,249,878スウェーデンクローナ売り	2018年12月19日	(508,657)
500,000ユーロ買い、13,813,655チェココルナ売り	2018年12月19日	(35,851)
900,000ユーロ買い、291,772,263ハンガリーフォリント売り	2019年3月20日	(109)
0ポンド買い、135,164米ドル売り	2018年12月19日	(135,164)

87,442ポンド買い、100,000ユーロ売り	2019年3月20日	(2,143)
35,247,653,079インドネシアルピア買い、2,400,000米ドル売り	2019年3月20日	27,435
49インドネシアルピア買い、-47,816米ドル売り	2018年12月19日	47,815
224,598,240韓国ウォン買い、200,000米ドル売り	2019年3月20日	1,553
24,150,887メキシコペソ買い、1,300,000米ドル売り	2018年12月19日	(118,891)
71,015,063ノルウェークローネ買い、7,400,000ユーロ売り	2018年12月19日	(121,229)
0ニュージーランドドル買い、144,765米ドル売り	2018年12月19日	(144,765)
3,900,000ニュージーランドドル買い、2,663,952米ドル売り	2019年3月20日	19,491
18,406,400フィリピンペソ買い、350,000米ドル売り	2019年3月20日	(1,381)
3,892,224ポーランドズロチ買い、900,000ユーロ売り	2018年12月19日	6,609
8,203,522ポーランドズロチ買い、1,900,000ユーロ売り	2019年3月20日	(1,736)
0ロシアルーブル買い、108,418米ドル売り	2018年12月19日	(108,418)
30,514,930ロシアルーブル買い、450,000米ドル売り	2019年3月20日	(628)
4,805,791トルコリラ買い、800,000米ドル売り	2018年12月19日	110,467
0米ドル買い、805,798ブラジルレアル売り	2018年12月19日	(208,207)
0米ドル買い、24,977,198チリペソ売り	2018年12月19日	(37,193)
1,250,000米ドル買い、41,453,433タイバーツ売り	2018年12月19日	(11,112)
1,300,000米ドル買い、9,026,507中国元売り	2018年12月19日	1,643
1,500,000米ドル買い、1,011,243,400チリペソ売り	2019年3月20日	(7,022)
1,650,000米ドル買い、5,359,947,025コロンビアペソ売り	2019年3月20日	305
1,700,000米ドル買い、2,211,281カナダドル売り	2018年12月19日	35,265
2,500,000米ドル買い、8,790,500イスラエルシェケル売り	2018年12月19日	132,234
200,000米ドル買い、293,823シンガポールドル売り	2018年12月19日	(14,175)
3,084,160米ドル買い、2,400,000ポンド売り	2019年3月20日	8,805
3,800,000米ドル買い、413,429,280円売り	2018年12月19日	155,948
-30,946米ドル買い、6韓国ウォン売り	2018年12月19日	(30,946)
35,081米ドル買い、0フィリピンペソ売り	2018年12月19日	35,081
350,000米ドル買い、27,243,920インドルピー売り	2018年12月19日	(40,114)
4,500,000米ドル買い、137,368,464台湾ドル売り	2019年3月20日	5,334
50,930米ドル買い、0台湾ドル売り	2018年12月19日	50,930
6,700,000米ドル買い、753,037,583円売り	2019年3月20日	9,854
7,600,000米ドル買い、7,467,138スイスフラン売り	2018年12月19日	118,475
8,637,217米ドル買い、7,400,000ユーロ売り	2018年12月19日	255,871
800,000米ドル買い、2,450,048,143コロンビアペソ売り	2018年12月19日	43,094
800,000米ドル買い、2,713,853ペルーソル売り	2019年3月20日	(10)
850,000米ドル買い、2,867,885ペルーソル売り	2018年12月19日	2,157
9,500,000米ドル買い、12,599,205カナダドル売り	2019年3月20日	(3,566)
900,000米ドル買い、3,486,933ブラジルレアル売り	2019年3月20日	4,541
14,127,647南アフリカランド買い、1,000,000米ドル売り	2018年12月19日	15,987
		\$ (912,873)

5. 金融資産と金融負債の相殺

2019年11月30日および2018年11月30日現在、ファンドが保有する金融商品の中で、財政状態計算書上で相殺表示されているものはありません（注3の総額をご参照下さい）。下記の表は、債務不履行時において、法的強制力があるマスター・ネットティング契約または類似の契約に基づき商品が相殺された場合の財務上の影響についての情報です。

下記は2019年11月30日現在における相手先別の総額および純額の金融資産および金融負債の要約です。

金融資産およびデリバティブ資産の相殺

内容	相手先	財政状態計算書上の資産総額	財政状態計算書上の相殺前に関する金額		
			金融商品 ⁽¹⁾	担保 ⁽²⁾	純額 ⁽³⁾
先渡	ドイツ銀行 バンク・オブ・	\$ 1,158,155	\$ (1,158,155)	\$ -	\$ -
先渡	ニューヨーク・メロン	1,175	(1,175)	-	-
先渡	シティバンク	1,161,955	(1,089,262)	-	72,693
先物	クレディスイス	2,544,662	(2,033,457)	-	511,205
証拠金	ドイツ銀行 バンク・オブ・	1,961,036	(76,995)	-	1,884,041
証拠金	ニューヨーク・メロン	3,653,097	(216,007)	-	3,437,090
証拠金	シティバンク	1,746,346	-	-	1,746,346
証拠金	クレディスイス	5,446,649	-	(537,372)	4,909,277
合計		\$ 17,673,075	\$ (4,575,051)	\$ (537,372)	\$ 12,560,652

金融負債およびデリバティブ負債の相殺

内容	相手先	財政状態計算書上の負債総額	財政状態計算書上の相殺前に関する金額		
			金融商品 ⁽¹⁾	担保 ⁽²⁾	純額 ⁽³⁾
先渡	ドイツ銀行 バンク・オブ・	\$ 1,235,150	\$ (1,158,155)	\$ (76,995)	\$ -
先渡	ニューヨーク・メロン	217,182	(1,175)	(216,007)	-
先渡	シティバンク	1,089,262	(1,089,262)	-	-
先物	クレディスイス	2,033,457	(2,033,457)	-	-
ブローカー に対する債務	クレディスイス	537,372	-	(537,372)	-
合計		\$ 5,112,423	\$ (4,282,049)	\$ (830,374)	\$ -

- (1) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する金融商品の総額です。
- (2) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する現金担保および証拠金の総額です。
- (3) 契約上の相殺する権利に基づき債務不履行時の相手先別の純額を表します。

下記は2018年11月30日現在における相手先別の総額および純額の金融資産および金融負債の要約です。

金融資産およびデリバティブ資産の相殺

内容	相手先	財政状態計算書上の資産総額	財政状態計算書上の相殺前に関する金額		
			金融商品 ⁽¹⁾	担保 ⁽²⁾	純額 ⁽³⁾
先渡	ドイツ銀行 バンク・オブ・	\$ 2,268,059	\$(2,268,059)	\$ -	\$ -
先渡	ニューヨーク・メロン	6,797	(6,797)	-	-
先渡	シティバンク	1,552,681	(1,552,681)	-	-
先物	クレディスイス	2,248,331	(1,741,511)	(298,614)	208,206
証拠金	ドイツ銀行 バンク・オブ・	2,809,474	(277,144)	-	2,532,330
証拠金	ニューヨーク・メロン	3,636,757	(104,397)	-	3,532,360
証拠金	シティバンク	1,948,891	(531,332)	-	1,417,559
証拠金	クレディスイス	4,280,772	-	-	4,280,772
合計		\$ 18,751,762	\$(6,481,921)	\$ (298,614)	\$ 11,971,227

金融負債およびデリバティブ負債の相殺

内容	相手先	財政状態計算書上の負債総額	財政状態計算書上の相殺前に関する金額		
			金融商品 ⁽¹⁾	担保 ⁽²⁾	純額 ⁽³⁾
先渡	ドイツ銀行 バンク・オブ・	\$ 2,545,203	\$(2,268,059)	\$(277,144)	\$ -
先渡	ニューヨーク・メロン	111,194	(6,797)	(104,397)	-
先渡	シティバンク	2,084,013	(1,552,681)	(531,332)	-
先物	クレディスイス	1,741,511	(1,741,511)	-	-
ブローカー に対する債務	クレディスイス	298,614	(298,614)	-	-
合計		\$ 6,780,535	\$(5,867,662)	\$(912,873)	\$ -

- (1) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する金融商品の総額です。
- (2) 相殺可能であるが財政状態計算書上は相殺されていない関連する現金担保および証拠金の総額です。
- (3) 契約上の相殺する権利に基づき債務不履行時の相手先別の純額を表します。

6. 関連当事者との取引

一方が他方を支配する、あるいは財務または事業に係る判断をするときに他方に重要な影響を及ぼす可能性がある場合、関連当事者であるとみなされます。

受託銀行および管理会社

2011年6月29日に、CIBCバンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッドは当トラストの受託銀行になりました。基本信託証書に従い、受託銀行と管理会社は、トラストの運営と管理について権限と全体的な責任を負い、トラストにおける受益権の分配と償還に対する責任を含みます。受託銀行と管理会社は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（USA）にファン

ドの日々の運営を行うように任命しました。受託銀行は、ファンドの資産から純資産価額に対して年率0.01%の報酬を受領する権利を有します。ただし、報酬は四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。受託銀行の報酬は毎日発生し、直前の評価日（毎日）時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

クイーンズゲート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・リミテッド（以下、「管理会社」といいます。）は、上記のように2011年6月29日付基本信託証券を受託銀行と締結し、2012年1月27日付補足信託証券を受託銀行と締結しました。管理会社はファンド資産の管理、およびファンドの受益証券の発行ならびに買戻しを指示します。管理会社は、ファンドの資産から純資産価額に対して年率0.01%の報酬を受領する権利を有します。ただし、報酬は四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。管理会社の報酬は毎日発生し、直前の評価日（毎日）時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

代行協会および販売会社

2012年1月27日に、クイーンズゲート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・リミテッドと三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社（以下、「代行協会」といいます。）の間で代行協会契約が締結されました。代行協会契約とは、管理会社によって任命された代行協会員が、ファンドの受益証券に関する目論見書を日本証券業協会（以下、「JSDA」といいます。）に提出、受益証券一口当たりの純資産価格を公表、および決算報告書その他の書類をJSDAへ提出するなどの業務を行うことに同意する契約です。代行協会員は、ファンドの受益証券の各クラスに帰属する純資産価額に対して年率0.05%の報酬を受領する権利を有します。

2012年1月27日に受益証券販売・買戻契約が管理会社と代行協会員との間で締結され、代行協会員は規定に従い日本において受益証券の販売会社の役割を担います。販売会社は、ファンドの受益証券の各クラスに帰属する純資産価額に対して年率0.95%の報酬を受領する権利を有します。代行協会員と販売会社の報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

管理事務代行会社

2012年1月27日に受託銀行と管理会社は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（USA）とファンドの管理事務代行契約を締結し、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロンが、オルタナティブ投資サービス部門（以下、「BNYMAIS」といいます。）を通じてファンドの管理事務業務を行います。管理事務代行会社に対する報酬は、契約書に含まれている報酬規程に基づき計算されます。報酬は毎日発生し、四半期ごとに後払いで支払われます。ファンドの純資産が250百万未満の場合はファンドの純資産の0.08%の報酬、250百万以上500百万以下の場合は0.06%の報酬、500百万超の場合は0.04%の報酬となります。ただし、最低年間管理事務代行報酬89,000ドルがあります。

投資顧問会社

2012年1月27日付の投資顧問契約に従い、アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッド（以下、「投資顧問会社」といいます。）は、投資顧問として任命されました。この契約によると、投資顧問会社は、各勘定にある資産の投資および再投資を管理し、すべての権限を持って裁量により指図をすることが認められています。これらの機能は、管理会社から投資顧問会社に委託されました。

投資顧問会社は、ファンドの純資産価額に対して年率0.63%の報酬を受領する権利を有します。報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

副投資顧問会社

2012年1月27日付の副投資顧問契約に基づいて、投資顧問会社は、ファンド資産の投資および再投資の運営を行うことをアスペクト・キャピタル・リミテッド（以下、「副投資顧問会社」といいます。）に任命しました。

副投資顧問会社は、ファンドの資産から、クラスヘッジ取引（注記8）の未実現損益を除いた米ドル建てポートフォリオ（以下、「共通ポートフォリオ」といいます。）の純資産価額に対して年率1.5%の報酬を受領する権利を有します。報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

副投資顧問会社は、ファンドの資産から、毎月（以下、「報酬計算期間」といいます。）月末において、共通ポートフォリオの正味新利益の20%に相当する月次成功報酬を受領する権利を有します。正味新利益とは、（i）共通ポートフォリオの正味実現純損益に、（ii）共通ポートフォリオの正味未実現純損益の変動額を加え、（iii）共通ポートフォリオの純資産額の年率3.25%を上限とするファンドの費用（受託報酬、管理報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、販売報酬、投資顧問報酬、副投資顧問報酬を含みます。）と、（iv）取引仲介手数料および取引費用の全額を控除し、（v）直前の報酬計算期間末日時点の正味新利益が負の数値であった場合（以下、「正味累積損失」といいます。）に、当該正味累積損失額を差し引いた金額とします。

保管銀行

2012年1月27日付の保管契約に従い、受託銀行によって、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（以下、「保管銀行」といいます。）が保管銀行に任命されました。保管銀行は、ファンドの純資産から、純資産価額に対して年率0.02%の報酬、または受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬を受領する権利を有します。また、保管銀行は、標準的な基準に従い取引手数料を受領する権利も有します。報酬は毎日発生し、直前の評価日時点の純資産価額に基づき計算され、四半期ごとに後払いで支払われます。

7. 分配

投資顧問会社は、受託銀行を代理する管理事務代行会社に、各クラスの受益証券保有者に対して分配を行うことを指示します。分配は、各クラスの受益証券に帰属するファンドの収益、実現および未実現キャピタルゲイン、ならびに／または分配可能な資金から支払われます。さらに、投資顧問会社がファンドについて合理的な水準の分配を維持することが必要であると考える場合、投資顧問会社は、受託銀行のかわりに管理事務代行会社に対し、ファンドの元本から分配金を支払うように指示をします。当期間において、下記の分配が行われました。

	2019年11月30日 終了年度	2018年11月30日 終了年度
豪ドル建てクラスから支払われた分配金	\$ (24,041)	\$ (41,075)
	\$ (24,041)	\$ (41,075)

8. 発行済受益証券

米ドル建米ドルクラス受益証券、豪ドル建豪ドルクラス受益証券、および円建円クラス受益証券という3クラスの受益証券の申込みが可能です。

当初申込期間

適格投資者による受益証券の申込みは当初申込期間において下記の発行価格で行われました。

- － 米ドル建米ドルクラス受益証券 ー 一口当たり10.00米ドル
- － 豪ドル建豪ドルクラス受益証券 ー 一口当たり10.00豪ドル
- － 円建円クラス受益証券 ー 一口当たり10,000円

当初申込期間に申し込まれた受益証券は2012年3月16日に発行されました。

継続申込期間

各クラスの受益証券は、取引日（各営業日）の当該申込価格で申込みが可能です。受益証券の一口当たりの申込価格は、当該取引日にあたる評価日の評価時点におけるそのクラスの受益証券の一口当たり純資産価格となります。

最低申込金額

米ドル建米ドルクラス受益証券の投資家一人当たりの最低申込金額は、100米ドル以上0.01米ドル単位または10口以上0.001口単位です。豪ドル建豪ドルクラス受益証券の投資家一人当たりの最低申込金額は、100豪ドル以上0.01豪ドル単位または10口以上0.001口単位です。円建円クラス受益証券の投資家一人当たりの最低申込金額は、10,000円以上1円単位または1口以上0.001口単位です。

償還

管理事務代行会社が取引日の少なくとも1営業日前までに償還請求書を受け取った場合、受益者の選択で、ファンドの受益証券を買戻価格で各取引日に償還することができます。一口当たりの買戻価格は、当該取引日にあたる評価日の評価時点におけるそのクラスの受益証券の一口当たり純資産価格となります。

2019年11月30日に終了した期間における取引は下記のとおりです。

	米ドルクラス (米ドル建)	豪ドルクラス (豪ドル建)	円クラス (円建)	合計
期首受益証券口数	1,164,262	115,189	379,851	1,659,302
当期発行受益証券口数	-	349,284	143,166	492,450
当期償還受益証券口数	(138,413)	(14)	(89,714)	(228,141)
期末受益証券口数	1,025,849	464,459	433,303	1,923,611
一口当たり純資産価格	\$ 9.66	AU\$ 8.67	¥ 8,806.95	

2018年11月30日に終了した期間における取引は下記のとおりです。

	米ドルクラス (米ドル建)	豪ドルクラス (豪ドル建)	円クラス (円建)	合計
期首受益証券口数	1,899,750	265,486	414,913	2,580,149
当期発行受益証券口数	108,436	137	71,013	179,586
当期償還受益証券口数	(843,924)	(150,434)	(106,075)	(1,100,433)
期末受益証券口数	1,164,262	115,189	379,851	1,659,302
一口当たり純資産価格	\$ 8.25	AU\$ 7.68	¥ 7,753.28	

ファンドの元本は主にこれらの受益証券数で表示されます。注記1で記載されている目的、注記9で記載されているリスク管理方針に従い、償還に対応する十分な流動性を維持し、必要であれば、短期の借入や投資の償還により流動性を上げながら、ファンドは受益者から受け取った申込金を適切な投資商品で運用するよう努力します。

2019年11月30日現在および2018年11月30日現在、ファンドの全受益証券は単独の受益者に保有されています。

9. 財務リスク管理

財務リスク要因

ファンドの活動により、市場リスク（価格リスク、通貨リスク、および金利リスクを含みます。）、信用リスク、流動性リスクなどさまざまな財務リスクが発生します。

ファンドは、保管リスクなど運営リスクを有しています。保管リスクは、保管されている有価証券の損失リスクであり、保管銀行の支払不能や過失によっておこります。法的枠組みが適切に実施され、保管銀行に委託されている有価証券の価値の損失リスクを除去しますが、怠慢などの事象により、ファンドによる有価証券の譲渡が一時的に損なわれることがあるかもしれません。

ファンドの全体的なリスク管理プログラムは、ファンドが関連するリスクレベルにより生じる利益を最大にすること、およびファンドの財務成績における潜在的な負の影響を最小限に抑えることを求めています。ファンドは、あるリスクの発生を軽減するために通貨先渡契約を使います。

すべての有価証券投資には元本損失のリスクがあります。長期債務証券に係る元本の損失は最大でもそのポジションの公正価値までに限定されます。先物売りポジションにおける元本の最大損失は無制限です。先物買いポジションおよび通貨先渡契約における元本の損失は、最大でもそのポジションの想定元本までに限定されます。

マーケットリスク

a) 価格リスク

ファンドは、債務証券および派生商品の価格リスクを有しています。それは、将来の価格が不安定なことによりファンドが保有する投資から生じます。非貨幣性金融商品は米ドル以外の通貨建てであり、当初外貨で表示され、米ドルに換算された価格は、為替レートの変更により変動します。下

記（b）「為替リスク」では、価格リスクのうちこの要素がどのように管理され、測定されるかについて説明しています。

派生商品には、その価値がひとつあるいは複数の原証券、金融ベンチマーク、あるいは金融指数にリンクした商品および契約が含まれます。派生商品の価値は、原資産の価格変動に大きく左右されます。多くの派生商品は、その取引が締結されたときに支払い、あるいは預かった金額に対し、市場のエクスポージャーが極めて大きくなります。不利な市場変動が比較的小規模であっても、投資の全額を失うばかりでなく、本来の投資金額を超える損失をファンドが被ることがあります。ファンドが取得しようとする派生商品を、満足できる条件で特定の時点において取得できるという保証はなく、取得自体ができるという保証もありません。

ファンドの方針は、ファンドが設定している投資制限の範囲内で、有価証券とその他の金融商品の分散および選択をとおして価格リスクを管理します。

11月30日現在、価格リスクのある債務および関連派生商品の公正価値は、注記3および4に記載されています。注記4には、ファンドの派生取引における想定エクスポージャーと業界に対するエクスポージャーが含まれています。

投資顧問会社は、ファンドの運用戦略をベンチマークやその他の指標をたどるように管理していません。2019年11月30日現在、ファンドの市場リスクは3つの主要な要素の影響を受けます。実際の市場価格の変化、金利および為替の変動です。2019年11月30日において、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、ポートフォリオ（先物取引を除きます。）が10%上昇した場合、受益者に帰属する純資産は約2,933,590米ドル（2018年：2,222,288米ドル）上昇したことになります。逆に、2019年11月30日において、ポートフォリオ（先物取引を除きます。）が10%下落した場合、受益者に帰属する純資産は約2,933,590米ドル（2018年：2,222,288米ドル）下落したことになります。

上記に記載された感応度分析は、11月30日現在のポートフォリオ（先物取引を除きます。）の構成に基づいています。ファンドの運用ポートフォリオの構成は、徐々に変更する可能性があります。したがって、11月30日現在で準備された感応度分析は、将来におけるファンドの純資産への影響を示すものとは限りません。

2019年11月30日において、先物取引の想定価値が、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、10%上昇あるいは下落した場合に、受益者に帰属する純資産の各々の上昇、下落は下記のとおりになります。

	正味想定元本	想定元本10%変動による純資産 価格の上昇/下落 (+/-) 値
先物契約		
通貨	\$ (1,189,169)	118,917
エネルギー	(550,446)	55,045
金融	295,094,792	29,509,479
穀物	(1,048,723)	104,872
インデックス	43,646,499	4,364,650
ロンドン金属	(980,981)	98,098
材料	(163,400)	16,340
畜産物	846,228	84,623
金属	2,232,492	223,249
先物契約合計額 (正味想定元本)	\$ 337,887,292	

2018年11月30日において、先物取引の想定価値が、その他の変数が一定の状態では保たれているとして、10%上昇あるいは下落した場合に、受益者に帰属する純資産の各々の上昇、下落は下記のとおりになります。

	正味想定元本	想定元本10%変動による純資産 価格の上昇/下落 (+/-) 値
先物契約		
通貨	\$ (1,643,670)	164,367
エネルギー	164,515	16,452
金融	(12,057,023)	1,205,702
穀物	(8,305,967)	830,597
インデックス	6,110,667	611,067
工業	(49,595)	4,960
ロンドン金属	(3,740,804)	374,080
材料	(473,460)	47,346
畜産物	(1,218,518)	121,852
金属	(3,285,645)	328,565
先物契約合計額 (正味想定元本)	\$ (24,499,500)	

上記の感応度分析は、11月30日現在のポートフォリオにおける先物契約に基づいています。ファンドの先物契約の構成は、徐々に変更する可能性があります。したがって、11月30日現在で準備された感応度分析は、将来におけるファンドの純資産への影響を示すものとは限りません。

副投資顧問会社は、システム化された定量的運用プログラムを導入し、ファンドの運用目標を実現することを目指しています。プログラムは、完全にシステム化され、幅広く分散されたグローバルトレーディングシステムを採用し、そのシステムによって、主に上場先物取引および為替先渡取引を通じ、通貨、金利、株式、株価指数、債務証券（債券を含みます。）、および商品（エネルギー、

金属、農産物を含みます。)を含む(しかし、これに限定しません。)幅広い金融商品やその他資産の市場のトレンドを伴う動きを見極め、有効に活用するべく、多様な戦略を展開します。

それぞれの市場に対して比較的小さなエクスポージャーを維持し、様々な取引のポジションを保ちながら、副投資顧問会社は長期的な分散を目指しています。ファンドの方針は、分散により価格リスクの管理をすることです。一般的に、プログラムは多数の取引市場にポジションを維持します。その他の要因のなかでも、シグナルの強度、変動性および流動性によって、市場への集中が変化します。収益の機会がみられるとき、利回りの可能性が最大限になるように設計された市場リスクの配分を十分に分散するように構築することに重点が置かれます。市場に対するエクスポージャーは毎日モニターされ、各市場におけるプログラムのエクスポージャーのレベルは常に定量化が可能であり、市場の変動性と流動性に従って変化します。

プログラムは完全自動化システムを採用し、市場のデータ(現在および過去の価格データを含みます。)を収集し、処理分析を行い、市場動向を見定め有効に使います。いろいろな期間単位でトレンドを見ながら、様々な頻度でプログラムは取引を行います。総合シグナルにしたがって、ポジションを取り、リスクを統制するように調整します。

b) 為替リスク

ファンドは国際的に運用し、機能通貨である米ドル以外の通貨建ての貨幣性および非貨幣性資産を保有しています。先物取引、他の通貨で認識されている貨幣性資産および貨幣性負債の価値が為替レートの変動により I F R S 第 7 号に規定されている為替リスクが発生します。I F R S 第 7 号では、非貨幣性資産および負債に関する為替のエクスポージャーは、市場価格リスクの一要素であり、為替リスクではないとみなしています。ファンドは、すべての外貨建ての資産および負債のエクスポージャーをモニターしています。

下記の表は、2019年11月30日現在において米ドル以外の通貨建てであるファンドの貨幣性資産および負債の要約です。

外貨建て資産および負債の集中度

(米ドル換算額)	香港 ドル	韓国 ウォン	マレーシ アリン ギット	スウェー デン クローナ	シンガ ポール ドル	タイバーツ	トルコリラ	南アフリカ ランド
資産	1,434	583,082	156,203	17,107	1,099	483	16,922	12,268
(米ドル換算額)	豪ドル	カナダ ドル	スイス フラン	ユーロ	ボンド	円		
負債	(17,798)	(60,465)	(132,185)	(194,362)	(92,424)	(40,137)		

下記の表は、2018年11月30日現在において米ドル以外の通貨建てであるファンドの貨幣性資産および負債の要約です。

外貨建て資産および負債の集中度

(米ドル換算額)	カナダ ドル	スウェー デン クローナ	タイ バーツ	トルコ リラ						
資産	108,651	6,078	90	494						
(米ドル換算額)	豪ドル	スイス フラン	ユーロ	ポンド	香港 ドル	円	韓国 ウォン	マレーシ アリン ギット	シンガ ポール ドル	南アフリ カランド
負債	(3,396)	(194)	(10,994)	(15,414)	(6,211)	(113,154)	(26,306)	(48,660)	(67)	(77,368)

下記の表は、2019年11月30日現在の為替相場の変動に対するファンドの貨幣性資産および負債の純額の感応度の要約です。その他の変数が一定の状態では保たれているとして、為替レートが米ドルに対して下記の表の変動率で上昇/下落したという仮定に基づき分析されています。

(米ドル換算額)	香港 ドル	韓国 ウォン	マレーシ アリン ギット	スウェー デン クローナ	シンガ ポール ドル	タイバーツ	トルコ リラ	南アフリ カランド	
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	
純資産額変動額	143	58,308	15,620	1,711	110	48	1,692	1,227	
(米ドル換算額)	豪ドル	カナダ ドル	スイス フラン	ユーロ	ポンド	円			
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%	10%	10%			
純資産額変動額	(1,780)	(6,047)	(13,219)	(19,436)	(9,242)	(4,014)			

下記の表は、2018年11月30日現在の為替相場の変動に対するファンドの貨幣性資産および負債の純額の感応度の要約です。その他の変数が一定の状態では保たれているとして、為替レートが米ドルに対して下記の表の変動率で上昇/下落したという仮定に基づき分析されています。

(米ドル換算額)	カナダ ドル	スウェー デン クローナ	タイ バーツ	トルコ リラ						
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%						
純資産額変動額	10,865	608	9	49						
(米ドル換算額)	豪ドル	スイス フラン	ユーロ	ポンド	香港 ドル	円	韓国 ウォン	マレーシ アリン ギット	シンガ ポール ドル	南アフリ カランド
為替レート変動率	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
純資産額変動額	(340)	(19)	(1,099)	(1,541)	(621)	(11,315)	(2,631)	(4,866)	(7)	(7,737)

米ドル以外の通貨建ての債券および短期マネーマーケット商品へのファンド資産の運用により、ファンドは、為替レートの変動の影響を受けます。運用が米ドル以外の債券および短期マネーマーケット商品で行われている場合、ファンドは為替取引を行います。このような取引は、為替リスクを取り除きませんが軽減し、米ドルに対する通貨の下落からファンド資産のすべて、あるいは一部を守るように組み立てられています。

豪ドルおよび円クラス（注記8）に関して、ファンドは各クラスの受益者のために為替取引を行っています。

為替取引が生じる市場は激しく変動し、非常に特殊であり、極めて専門的です。流動性と価格の変動を含めた著しい変動が、短時間に、時には分単位で、市場に発生します。

2019年11月30日現在において、先渡取引以外の損益を通して公正価値で測定するファンドの金融資産および負債は、先物取引の304,451米ドル（2018年：497,070米ドル）を除いて、米ドルに換算替えられています。

2019年11月30日現在に、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、下記通貨と米ドルの間の為替レートが10%上昇/下落した場合、受益者に帰属する純資産の増加あるいは減少は、下記のようになります（クラスヘッジ取引に用いられる通貨先渡取引の影響を除きます。）。

通貨	2019年11月30日現在 先渡取引の 未実現利益（損失）	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇/下落（+/-） 値
豪ドル-米ドル	\$ (99,972)	\$ 1,003,916
ブラジルレアル-米ドル	42,580	240,742
カナダドル-米ドル	(66,762)	83,324
スイスフラン-ユーロ	(30,589)	2,781
スイスフラン-米ドル	31,543	406,846
チリペソ-米ドル	272,259	142,774
中国元-米ドル	3,065	50,306
コロンビアペソ-米ドル	18,620	193,138
チェココルナ-ユーロ	19,230	1,748
ユーロ-ポンド	11,670	1,061
ユーロ-ハンガリーフォリント	27,782	2,526
ユーロ-円	(64,665)	5,879
ユーロ-ノルウェークローネ	(16,667)	1,515
ユーロ-ポーランドズロチ	(5,867)	533
ユーロスウェーデンクローナ	(47,549)	4,323
ユーロ-米ドル	50,761	854,536
ポンド-米ドル	(218,424)	25,959
インドネシアルピア-米ドル	81,641	208,164
イスラエルシェケル-米ドル	(8,843)	229,115
インドルピー-米ドル	25,683	69,850
円-米ドル	(32,285)	343,228
韓国ウォン-米ドル	(38,982)	38,898
メキシコペソ-米ドル	413	465,041
ニュージーランドドル-米ドル	(88,056)	365,893
ペルーソール-米ドル	807	49,818
フィリピンペソ-米ドル	(9,665)	74,938
ロシアルーブル-米ドル	104,567	400,457
シンガポールドル-米ドル	(2,815)	134,719
タイバーツ-米ドル	17,223	186,722
トルコリラ-米ドル	62,697	226,270
台湾ドル-米ドル	(54,241)	185,231
米ドル-南アフリカランド	10,536	106,054
	\$ (4,305)	

通貨	2019年11月30日現在 外貨建て先物取引の 未実現利益（損失）※	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇／下落（＋／－）値
豪ドル	\$ 88,632	\$ 8,863
カナダドル	56,727	5,673
スイスフラン	122,454	12,245
ユーロ	84,029	8,403
ポンド	(52,440)	5,244
香港ドル	40,087	4,009
円	27,244	2,724
韓国ウォン	(23,545)	2,354
マレーシアリングgit	10,990	1,099
スウェーデンクローナ	(26,837)	2,684
シンガポールドル	(3,118)	312
タイバーツ	1,765	177
トルコリラ	(18,176)	1,818
南アフリカランド	(3,361)	336
	\$ 304,451	

※米ドル分は合計に含まれていません。

2018年11月30日現在に、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、下記通貨と米ドルの間の為替レートが10%上昇／下落した場合、受益者に帰属する純資産の増加あるいは減少は、下記のようになります（クラスヘッジ取引に用いられる通貨先渡取引の影響を除きます。）。

通貨	2018年11月30日現在 先渡取引の 未実現利益（損失）	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇／下落（＋／－）値
豪ドル-米ドル	\$ (64,362)	\$ 285,327
ブラジルレアル-米ドル	(203,666)	110,367
カナダドル-米ドル	31,699	1,116,830
スイスフラン-ユーロ	(103,721)	9,429
スイスフラン-米ドル	118,475	748,152
チリペソ-米ドル	(44,215)	154,421
中国元-米ドル	1,643	129,836
コロンビアペソ-米ドル	43,399	240,661
チェココルナ-ユーロ	(35,851)	3,259
ユーロ-ポンド	(129,334)	11,758
ユーロ-ハンガリーフォリント	(30,271)	2,752
ユーロ-円	(29,453)	2,677
ユーロ-ノルウェークローネ	(121,229)	11,021
ユーロ-ポーランドズロチ	4,873	443
ユーロ-スウェーデンクローナ	(516,155)	46,924
ユーロ-米ドル	255,871	838,135
ポンド-米ドル	(126,359)	307,535
インドネシアルピア-米ドル	75,250	242,744
イスラエルシェケル-米ドル	132,234	236,777
インドルピー-米ドル	(40,114)	39,011
円-米ドル	57,739	1,033,420
韓国ウォン-米ドル	(29,393)	20,155
メキシコペソ-米ドル	(118,891)	118,111

ニュージーランドドル-米ドル	(125, 274)	268, 344
ペルーソルー米ドル	2, 147	164, 785
フィリピンペソ-米ドル	33, 700	34, 862
ロシアルーブル-米ドル	(109, 046)	44, 937
シンガポールドル-米ドル	(14, 175)	21, 417
タイバーツ-米ドル	(11, 112)	126, 111
トルコリラ-米ドル	110, 467	91, 047
台湾ドル-米ドル	56, 264	449, 467
米ドル-南アフリカランド	15, 987	101, 599
	\$ (912, 873)	

通貨	2018年11月30日現在 外貨建て先物取引の 未実現利益（損失）※	為替レート変動10% による純資産価格の 上昇/下落（+/-）値
豪ドル	\$ 36, 141	\$ 3, 614
カナダドル	(113, 458)	11, 346
スイスフラン	(3, 541)	354
ユーロ	184, 135	18, 414
ポンド	12, 109	1, 211
香港ドル	8, 038	804
円	96, 678	9, 668
韓国ウォン	114, 117	11, 412
マレーシアリングgit	50, 370	5, 037
スウェーデンクローナ	3, 818	382
タイバーツ	23	2
トルコリラ	(739)	74
南アフリカランド	109, 379	10, 938
	\$ 497, 070	

※米ドル分は合計に含まれていません。

ファンドの方針にしたがい、副投資顧問会社は、毎日、ファンドの為替正味ポジションをモニターしています。

c) 金利リスク

金利変動に対するファンドのエクスポージャーは、固定金利債務証券へのファンドの運用に関連します。国債は、下記満期のゼロクーポン債です。

2019年11月30日現在	<u>満期</u>
米国財務省短期証券 (想定元本29, 613, 000米ドル)	2019-2020
2018年11月30日現在	<u>満期</u>
米国財務省短期証券 (想定元本23, 180, 000米ドル)	2018-2019

確定利付資産の価値は、金利の変動に伴い変動します。通常、金利が上昇する場合、確定利付資産

の価値は下落する傾向にあります。反対に、金利が下落する場合、確定利付資産の価値は上昇する傾向にあります。確定利付資産の価値の変動の度合いは、確定利付資産の満期と発行条件を含め、数多くの要因に左右されます。

2019年11月30日現在において、その他の変数が一定の状態を保たれているとして、金利が10ベースポイント下がった場合、その期間の受益者に帰属する純資産の減少額は、現預金残高に係る受取利息の減少により、約7,400米ドル（2018年：15,100米ドル）となります。

ファンドの方針にしたがい、副投資顧問会社は、毎日、ファンドの総合的な金利感応度をモニターしています。

信用リスク

ファンドは信用リスクを有しています。それは、債務返済が不履行となったことにより、金融商品に係る一方の当事者が、他方に対する財務上の損失をもたらすというリスクです。

ファンドが行っている主な集中は、ファンドの債務証券への投資から発生します。ファンドは、派生商品取引、証拠金勘定、現金および現金同等物、ブローカーからの未収金、ならびにその他未収金残高に係るカウンターパーティリスクも有しています。現金残高を確保し、有価証券取引を大手の金融機関と行うことによって、信用リスクを軽減するようにしています。

2019年11月30日現在の各クラスの債券に係る信用格付け別ポートフォリオ

	信用格付け	ドル金額	純資産価格の%
米国財務省短期証券	AA+	29,556,204	62.23

2018年11月30日現在の各クラスの債券に係る信用格付け別ポートフォリオ

	信用格付け	ドル金額	純資産価格の%
米国財務省短期証券	AA+	23,135,751	64.21

ファンドは、信用リスクおよび予想信用損失を、倒産確率、デフォルト時エクスポージャーおよび債務不履行時損失を用いて測定します。また経営者は予想信用損失を算定するために過去分析と将来情報の両方を考慮します。ファンドに対して潜在的に信用リスクをもたらす現金同等物は、主にコール資金と当初から3ヶ月以内に満期が到来する投資からなります。現金同等物は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（S&P格付けがAです。）に預け入れていますので、重要な信用リスクがあるとは考えられません。

2019年11月30日現在、ファンドの他のすべての金融商品がバンク・オブ・ニューヨーク・メロン、クレディスイス、ドイツ銀行およびシティバンクに保管されています（2018年：バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、クレディスイス、ドイツ銀行およびシティバンク）。これらのブローカーは主要な証券取引所のメンバーであり、2019年11月30日現在、S&Pの格付けは、それぞれA、B

BB+、BBB+、BBB+（2018年11月30日：A、BBB+、BBB+、BBB+）です。ファンドはブローカーをモニターし、いずれも適切な保管銀行であると信じていますが、支払不能にならないという保証はありません。連邦破産法と1970年証券投資家保護法は、ブローカーの倒産、支払不能、解散などが起こった場合に、顧客の財産を保護しようとしますが、ファンド資産の保管を行っているブローカーの倒産によって、（i）一定期間において資産が利用できない、（ii）完全回収はできないが最終的に資産を受領する、あるいは（iii）その両者が起こるために、ファンドは損失を計上しないということは確かではありません。4つの保管銀行（2018年：4つ）に実質的にすべてのファンド資産の保管を委任しているために、そのような損失は重大になり得るとともに、運用目的を達成しようとするファンドの能力を著しく損なう可能性があります。カウンターパーティは直近の期間における契約上の義務を履行するための強固な能力を有しているため、経営者は倒産確率はゼロに近いと考えています。結果として、減損はファンドにとって全体として重要な金額になり得ないと考えられたため、12ヶ月の予想信用損失に基づく損失評価引当金は認識されていません。

認可されたブローカーを使ってすべての取引の受け渡しが行われると、決済され、支払が行われます。ブローカーが支払を受領すると直ちに売却された有価証券の受け渡しが行われますので、債務不履行のリスクは最少であると思われます。有価証券がブローカーに受領されると直ちに購入側の支払が行われます。いずれかの当事者がその義務の履行を行うことができない場合、その取引は失敗となります。

ファンドの非上場派生商品に係るカウンターパーティは大手金融機関です。

派生商品の残高に係る信用リスクがファンドの財政状態に重要な不利な影響を及ぼすと、経営者は考えておりません。ファンドの方針にしたがい、副投資顧問会社は、ファンドの信用ポジションを毎日モニターしています。

2019年11月30日に信用強化を行う前の信用リスクに対する最大のエクスポージャーは、財政状態計算書に記載されている金融資産の簿価です。

流動性リスク

流動性リスクとは、債務の期限が到来しているが、債務全額を決済するのに十分な現金資金を調達できない、あるいはかなり不利な条件で資金調達を行わざるを得ないというリスクです。

ファンドは派生商品のマージンコールの毎日の決済と、償還可能株式の毎日の現金償還を行っています。活発な市場で取引され、容易に処分することができる投資商品で資産の大半を運用することが方針です。投資のうち限られた割合の資産のみが証券取引所で活発に取引されていません。

ファンドは、財政状態計算書に計上されている金額を超える市場リスクを大なり小なり有する先物、先渡契約を行います。契約の想定元本は、金融商品へのファンドの参加の度合いを表しています。このような契約に伴う市場リスクは、これらの商品に係る為替レート、指標、および有価証券の価値の起こりうる変動により発生します。その他の市場リスクおよび信用リスクは、商品が市場で流動しない可能性、商品の価値の変動が為替、商品、指標、あるいは有価証券の価値の変動と直接相互関連しない可能性、あるいは、先物もしくは先渡契約に係るカウンターパーティが契約条件に基

づいて行う義務が不履行となる可能性を含みます。

下記の表は、財政状態計算書の日において、最も早い契約満期日までの残存期間により満期日でグループ分けをし、総額ベースで決済されるファンドの派生金融負債を分析しています。表の金額は、現在価値に割引いていない契約上のキャッシュ・フローです。

<u>2019年11月30日現在：</u>	3ヶ月以下	3ヶ月超から 12ヶ月まで	1年超	合計
損益を通じて公正価値を測定する 金融負債（純額決済派生商品）	\$ (3,794,027)	\$ (714,191)	\$ (66,833)	\$ (4,575,051)

2018年11月30日現在：

損益を通じて公正価値を測定する 金融負債（純額決済派生商品）	\$ (6,054,611)	\$ (268,971)	\$ (158,339)	\$ (6,481,921)
-----------------------------------	----------------	--------------	--------------	----------------

ファンドの派生商品ではない金融負債は、財政状態計算書の日から3ヶ月以内に支払期日が到来します。

公正価値の開示

I F R S 第13号によって、ファンドは、測定の際に使用するインプットの重要性を反映する公正価値のヒエラルキーを使い公正価値の測定を分類することが要求されます。公正価値のヒエラルキーは次のレベルがあります。

- ・ 同一資産あるいは負債に対する活発な市場における（未調整）公表価格（レベル1）
- ・ 資産あるいは負債について、直接（すなわち、価格として）または間接的（すなわち、価格から算出して）に観察可能で、レベル1に含まれる公表価格以外のインプット（レベル2）
- ・ 観察可能な市場データを基準としていない資産あるいは負債に係るインプット（つまり、観察不可能なインプット）（レベル3）

公正価値の測定を全体的に分類する場合、公正価値のヒエラルキーのレベルは、公正価値の測定の全体に対して重要である最も低いレベルのインプットを基準に決定されます。この目的のために、インプットの重要性は、公正価値の測定の全体に対して評価されます。観測不可能なインプットに基づいて重要な調整を必要とする観察可能なインプットを公正価値の測定で使用する場合、その測定はレベル3となります。公正価値の測定の全体に対して特定のインプットの重要性を評価する際には、資産あるいは負債に特定な要因を考慮にいれながら、判断が必要となります。

「観察可能」とする決定には、ファンドによる重要な判断を必要とします。市場データが入手容易であり、定期的に配賦あるいは更新され、信頼性があり検証可能であり、専有情報ではなく、関連する市場において活発に関与している独立した発信元によって提供されるものを、ファンドは観察可能なデータであるとみなします。

下記の表は、2019年11月30日に測定されたファンドの（クラス別の）金融資産および負債を、公正価値のヒエラルキーで分類しています。

資産	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
米国財務省短期証券	\$ 29,556,204	\$ —	\$ —	\$ 29,556,204
通貨先渡契約	—	2,321,285	—	2,321,285
先物	2,544,662	—	—	2,544,662
資産合計	\$ 32,100,866	\$ 2,321,285	\$ —	\$ 34,422,151
負債	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
通貨先渡契約	\$ —	\$ (2,541,594)	\$ —	\$ (2,541,594)
先物	(2,033,457)	—	—	(2,033,457)
負債合計	\$ (2,033,457)	\$ (2,541,594)	\$ —	\$ (4,575,051)

下記の表は、2018年11月30日に測定されたファンドの（クラス別の）金融資産および負債を、公正価値のヒエラルキーで分類しています。

資産	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
米国財務省短期証券	\$ 23,135,751	\$ —	\$ —	\$ 23,135,751
通貨先渡契約	—	3,827,537	—	3,827,537
先物	2,248,331	—	—	2,248,331
資産合計	\$ 25,384,082	\$ 3,827,537	\$ —	\$ 29,211,619
負債	レベル 1	レベル 2	レベル 3	残高合計
通貨先渡契約	\$ —	\$ (4,740,410)	\$ —	\$ (4,740,410)
先物	(1,741,511)	—	—	(1,741,511)
負債合計	\$ (1,741,511)	\$ (4,740,410)	\$ —	\$ (6,481,921)

その価値が活発な市場における市場価格に基づき、かつレベル 1 に分類される投資には、活発な上場株式、大部分の取引所で取引される派生商品、多くの米国財務省短期証券、および米国以外のソブリン債などがあります。ファンドは、これらの投資に係る公表価格を調整しません。

活発であるとは思われないが、公表市場価格、ディーラーの気配値、観察可能なインプットによって立証される代替価格発信元に基づいて評価される市場で取引する金融商品はレベル 2 に分類されます。これらには、非投資適格ソブリン債、大部分の投資適格社債、償還制限のないその他のファンドへの投資、取引量の少ない上場株式、および一部の店頭取引派生商品を含みます。レベル 2 では活発な市場で取引されていない、かつ/あるいは譲渡制限のあるポジションを含むために、評価は、一般的に入手可能な市場情報に基づく非流動性、かつ/あるいは譲渡不能を反映するように調整されます。

取引はめったに行われず、あるいは全く行われずのために、レベル 3 に分類される投資は重要な観察不可能なインプットを有しています。これらの有価証券については観察可能な価格を入手できないため、評価手法が公正価値を導くために使用されます。11月30日現在、ファンドはレベル 3 の投資を保有していません。

10. 公正価値で計上されていないが公正価値が開示される資産および負債

投資は公正価値で表示されます。すべてのその他の金融資産・負債の簿価は、短期の商品であるため、公正価値に近似していると考えられます。

現金および現金同等物は、現金有高および銀行預金を含みます。証拠金は、取引所先物取引、通貨先渡取引のための担保預け金です。現金および現金同等物、証拠金勘定は、レベル1のインプットを使用することによって決定されます。

未収入出資金およびその他の資産は、ファンドに対するその他の義務の履行に係る契約上の金額を含みます。未払金および未払費用は、償還および支出の決済のためのファンドによる契約金額および義務を表します。これらの未収金および未払金は、レベル2のインプットを使用することによって決定されます。

参加型受益証券の買取請求権の価値は、ファンドが設定している規定に従い、総資産および他のすべての負債の差額に基づいて計算されます。これらの参加型受益証券は活発な市場で取引されるものではありません。参加型受益証券は所有者の選択により償還可能なものであり、ファンドのユニットクラス（注2および注8）に帰属する純資産価値の持分に比例した割合に応じた価額で、取引日であればいつでもファンドに対して売り戻すことが出来ます。公正価値は、要求払い金額を支払要求可能な最初の日から割引いた金額に基づいています。割引計算の影響は軽微です。したがって、レベル2は受益者帰属純資産の区分として最も適切とみなされています。

11. コミットメント

通常の取引のなかで、受託銀行と管理会社は、ファンドの代わりに、様々な表明および保証を含み、一般的な補償を条件とする契約を締結します。これらの取引において、受託銀行と管理会社の最も大きいエクスポージャーは未確認です。しかし、まだ発生していないが、将来起こり得る受託銀行と管理会社に対するクレームを含んでいますが、これまでの経験に基づき、経営者はファンドに対する損失リスクは起こりえないと考えています。

12. 後発事象

経営者は、2019年12月1日から2020年5月15日までの期間に係る後発事象を評価しました。

当該期間において、501,721米ドルの申込みおよび8,574,707米ドルの買戻しが行われました。その他ファンドに関連して開示すべき後発事象はありません。

(3) 投資有価証券明細表等

D I A Mケイマン・トラストーAspect マネージド・フューチャーズ・ファンド

投資運用附属明細表(未監査)

2019年11月30日に終了した年度

先渡契約	満期日	未実現利益 ／(損失)
3,985,093豪ドル買い、2,710,838米ドル売り	2019年12月30日	\$ (12,975)
3,406,029,100円買い、31,393,815米ドル売り	2019年12月30日	(203,032)
0豪ドル買い、128,238米ドル売り	2019年12月18日	(128,237)
1,195,412カナダドル買い、900,000米ドル売り	2020年3月18日	1,011
1,952,307スイスフラン買い、1,800,000ユーロ売り	2019年12月18日	(30,589)
21,704スイスフラン買い、0米ドル売り	2019年12月18日	21,732
21,253中国元買い、0米ドル売り	2019年12月18日	3,021
3,526,873中国元買い、500,000米ドル売り	2020年3月18日	44
41,093,152チェココロンナ買い、1,600,000ユーロ売り	2020年3月18日	33
444,713チェココロンナ買い、0ユーロ売り	2019年12月18日	19,197
3,300,000ユーロ買い、1,102,468,630ハンガリーフォリント売り	2020年3月18日	9,975
3,850,000ユーロ買い、39,297,852ノルウェークローネ売り	2019年12月18日	(16,667)
0ユーロ買い、13,788ポンド売り	2019年12月18日	(17,844)
0ユーロ買い、6,122,802円売り	2019年12月18日	(55,997)
0ユーロ買い、393,697スウェーデンクローナ売り	2019年12月18日	(41,162)
2,459,613ポンド買い、2,850,000ユーロ売り	2020年3月18日	29,514
200,000ポンド買い、258,311米ドル売り	2020年3月18日	1,275
0ポンド買い、219,699米ドル売り	2019年12月18日	(219,699)
5,399,904ハンガリーフォリント買い、0ユーロ売り	2019年12月18日	17,807
29,417,907,109インドネシアルピア買い、2,000,000米ドル売り	2019年12月18日	81,641
7,936,800イスラエルシェケル買い、2,300,000米ドル売り	2020年3月18日	(2,826)
50,683,948インドルピー買い、700,000米ドル売り	2020年3月18日	(1,497)
143,838,755円買い、1,200,000ユーロ売り	2020年3月18日	(8,668)
701,389メキシコペソ買い、0米ドル売り	2019年12月18日	35,771
91,675,725メキシコペソ買い、4,650,000米ドル売り	2020年3月18日	(35,358)
0ペルーソル買い、1,015米ドル売り	2019年12月18日	(1,015)
38,214,211フィリピンペソ買い、750,000米ドル売り	2020年3月18日	(616)
0フィリピンペソ買い、9,049米ドル売り	2019年12月18日	(9,049)
15,960,586ポーランドズロチ買い、3,700,000ユーロ売り	2019年12月18日	(5,867)
258,126,927ロシアルーブル買い、3,900,000米ドル売り	2019年12月18日	104,567
18,954,410スウェーデンクローナ買い、1,800,000ユーロ売り	2020年3月18日	(6,387)
1,839,682シンガポールドル買い、1,350,000米ドル売り	2020年3月18日	(3,333)
709シンガポールドル買い、0米ドル売り	2019年12月18日	518
56,405,871タイバーツ買い、1,850,000米ドル売り	2019年12月18日	17,223
13,060,838トルコリラ買い、2,200,000米ドル売り	2019年12月18日	62,697
0台湾ドル買い、51,928米ドル売り	2019年12月18日	(51,928)
1,700,000米ドル買い、1,147,849,340チリペソ売り	2019年12月18日	272,259
1,850,000米ドル買い、56,080,720台湾ドル売り	2020年3月18日	(2,313)
1,950,000米ドル買い、6,798,983,675コロンビアペソ売り	2019年12月18日	18,620
10,067,430米ドル買い、14,800,000豪ドル売り	2020年3月18日	28,265
2,450,000米ドル買い、10,216,146ブラジルリアル売り	2019年12月18日	42,580

27,180米ドル買い、0インドルピー売り	2019年12月18日	27,180
3,400,000米ドル買い、367,796,929円売り	2020年3月18日	16,884
3,570,870米ドル買い、5,700,000ニュージーランドドル売り	2019年12月18日	(88,056)
350,000米ドル買い、411,104,820韓国ウォン売り	2020年3月18日	1,227
4,100,000米ドル買い、4,056,534スイスフラン売り	2020年3月18日	9,811
42,588米ドル買い、0ユーロ売り	2019年12月18日	42,588
500,000米ドル買い、1,702,953ペルーソル売り	2020年3月18日	1,822
8,553,529米ドル買い、7,700,000ユーロ売り	2020年3月18日	8,173
0米ドル買い、89,954カナダドル売り	2019年12月18日	(67,773)
0米ドル買い、20,897イスラエルシェケル売り	2019年12月18日	(6,017)
0米ドル買い、5,376,195円売り	2019年12月18日	(49,169)
0米ドル買い、47,491,425韓国ウォン売り	2019年12月18日	(40,209)
15,683,833南アフリカランド買い、1,050,000米ドル売り	2020年3月18日	5,019
80,983南アフリカランド買い、0米ドル売り	2019年12月18日	5,517
		\$ (220,309)

保有商品	額面価額	建玉	平均簿価	市場価格	未実現利益 ／ (損失)
米国財務省短期証券 12/05/2019	231,000	買建て	230,959	230,973	\$ 14
米国財務省短期証券 01/02/2020	6,052,000	買建て	6,043,751	6,043,870	120
米国財務省短期証券 01/30/2020	2,408,000	買建て	2,402,037	2,401,767	(269)
米国財務省短期証券 12/26/2019	1,335,000	買建て	1,333,276	1,333,627	351
米国財務省短期証券 01/16/2020	7,454,000	買建て	7,440,252	7,439,441	(810)
米国財務省短期証券 02/13/2020	7,957,000	買建て	7,933,158	7,931,991	(1,167)
米国財務省短期証券 12/10/2019	4,176,000	買建て	4,174,357	4,174,535	177
			29,557,790	29,556,204	\$ (1,584)

保有商品	取引数	建玉	未実現利益／（損失）
BIST30先物 2019年12月	(144)	売建て	\$ (18,176)
豪ドル／米ドル 通貨先物 2019年12月	(6)	売建て	720
FTSEアフリカトップ40指数先物 2019年12月	(23)	売建て	(2,109)
銀行引受手形先物 2021年3月	2	買建て	(75)
銀行引受手形先物 2020年6月	(21)	売建て	810
銀行引受手形先物 2021年6月	2	買建て	(179)
銀行引受手形先物 2020年9月	(8)	売建て	311
銀行引受手形先物 2021年9月	2	買建て	(94)
銀行引受手形先物 2020年12月	4	買建て	(396)
SET50先物 2019年12月	(43)	売建て	1,765
大豆油先物 2020年1月	32	買建て	(19,986)
短期Euro-BTP先物 2019年12月	52	買建て	(18,631)
とうもろこし先物 2020年3月	(25)	売建て	188
とうもろこし先物 2020年5月	(23)	売建て	1,650
小麦先物 EURO 2020年3月	(36)	売建て	(15,631)
ココア先物 2020年3月	9	買建て	(5,120)
ココア先物 2020年5月	15	買建て	(10,940)
カナダドル通貨先物 2019年12月	(1)	売建て	20
CAC40株価指数先物 2019年12月	47	買建て	2,639
WTI原油先物 2020年1月	(40)	売建て	38,750
WTI原油先物 2020年2月	(5)	売建て	8,810
カナダ国債10年先物 2020年3月	2	買建て	(211)
ブレント原油先物 2020年2月	50	買建て	(24,750)
ブレント原油先物 2020年3月	15	買建て	(6,770)
綿No. 2先物 2020年3月	(5)	売建て	(450)
ロブスタコーヒー先物 (10tn) 2020年3月	(1)	売建て	(10)
ダウ工業株平均MINI e-CBOT 2019年12月	29	買建て	98,175
ユーロ-ドイツ国債先物 2020年3月	(9)	売建て	127
ユーロ-ドイツ国債先物 2019年12月	(14)	売建て	1,096
ユーロ通貨先物 2019年12月	(2)	売建て	(713)
90日ユーロ／ドル先物 2020年3月	6	買建て	(1,838)
90日ユーロ／ドル先物 2021年3月	12	買建て	(3,238)
90日ユーロ／ドル先物 2022年3月	14	買建て	(2,288)
90日ユーロ／ドル先物 2020年6月	16	買建て	(3,638)
90日ユーロ／ドル先物 2021年6月	14	買建て	(2,738)
90日ユーロ／ドル先物 2020年9月	13	買建て	(3,000)
90日ユーロ／ドル先物 2021年9月	13	買建て	(2,838)
90日ユーロ／ドル先物 2020年12月	14	買建て	(3,363)

保有商品	取引数	建玉	未実現利益／（損失）
90日ユーロ／ドル先物 2021年12月	12	買建て	\$ (1,888)
アムステルダム株価指数先物 2019年12月	21	買建て	5,086
3ヶ月ユーロ EURIBOR 2022年3月	1	買建て	(69)
3ヶ月ユーロ EURIBOR 2022年6月	2	買建て	(96)
S&P500 E-MINI先物 2019年12月	17	買建て	75,720
S&Pミッドキャップ 400 E-MINI 2019年12月	6	買建て	8,830
CATTLE FEEDER先物 2020年1月	(4)	売建て	(638)
CATTLE FEEDER先物 2020年3月	(1)	売建て	(1,663)
ICE 天然ガス先物 2020年1月	(25)	売建て	7,588
米国債5年先物 (CBT) 2020年3月	34	買建て	(2,898)
VSTOXX 先物 2019年12月	(2)	売建て	264
長期ギルト債先物 2020年3月	36	買建て	(10,631)
金100オンス先物 2020年2月	2	買建て	(2,060)
ドイツDAX株価指数先物 2019年12月	8	買建て	71,132
ハンセン中国企業株指数先物 2019年12月	(8)	売建て	15,279
銅先物 2020年3月	(12)	売建て	(7,200)
ハンセン株価指数先物 2019年12月	(6)	売建て	24,809
NY港渡し ULSD先物 2020年1月	(15)	売建て	35,406
NY港渡し ULSD先物 2020年2月	(4)	売建て	7,867
SGX NIFTY 50 2019年12月	(55)	売建て	1,046
菜種油先物 EURO 2020年2月	10	買建て	151
FTSEブルサマレーシア株価指数先物 2019年12月	(4)	売建て	1,113
Euro-BTP先物 2019年12月	16	買建て	(47,629)
90日銀行手形 2020年3月	56	買建て	1,329
90日銀行手形 2021年3月	25	買建て	1,097
90日銀行手形 2020年6月	50	買建て	3,191
90日銀行手形 2021年6月	17	買建て	1,097
90日銀行手形 2020年9月	47	買建て	3,624
90日銀行手形 2020年12月	32	買建て	1,795
日本国債10年 (OSE) 2019年12月	2	買建て	(7,582)
円通貨先物 2019年12月	(1)	売建て	1,225
韓国10年国債先物 2019年12月	(33)	売建て	(3,793)
コーヒー商品先物 2020年3月	5	買建て	5,869
コーヒー商品先物 2020年5月	4	買建て	5,663
コーヒー商品先物 2020年7月	4	買建て	5,663
韓国3年国債先物 2019年12月	(34)	売建て	(5,275)
韓国200種株価指数先物 2019年12月	12	買建て	(14,477)
パーム原油先物 2020年2月	18	買建て	9,877
KC HRW小麦先物 2020年3月	(21)	売建て	(8,850)

保有商品	取引数	建玉	未実現利益／(損失)
90日債券先物 2020年3月	2	買建て	\$ (291)
90日債券先物 2021年3月	32	買建て	(6,038)
90日債券先物 2022年3月	26	買建て	(6,531)
90日債券先物 2020年6月	12	買建て	(574)
90日債券先物 2021年6月	40	買建て	(7,267)
90日債券先物 2020年9月	52	買建て	(7,623)
90日債券先物 2021年9月	33	買建て	(7,024)
90日債券先物 2020年12月	52	買建て	(8,342)
90日債券先物 2021年12月	31	買建て	(6,928)
生牛先物 2020年2月	17	買建て	13,600
生牛先物 2020年4月	15	買建て	4,070
生牛先物 2020年6月	11	買建て	60
豚赤身肉先物 2020年2月	(19)	売建て	12,980
豚赤身肉先物 2020年4月	(14)	売建て	20,020
MSCI Emg Mkt 2019年12月	(12)	売建て	6,675
MSCI EAFE株価指数先物 2019年12月	9	買建て	1,245
ドイツMDAX株価指数先物 2019年12月	2	買建て	8,236
ICE ECX 排出権先物 2020年12月	(3)	売建て	(4,870)
赤小麦先物MGE 2020年3月	(32)	売建て	17,275
天然ガス先物 2020年1月	(40)	売建て	122,580
天然ガス先物 2020年2月	(58)	売建て	248,450
日経 225 (SGX) 2019年12月	8	買建て	13,085
ナスダック100 E-MINI 2019年12月	15	買建て	74,730
ニュージーランドドル先物 2019年12月	(3)	売建て	(1,730)
日経 225 (CME) 2019年12月	7	買建て	9,300
ユーロオーツ麦先物 2020年3月	2	買建て	(408)
ユーロオーツ麦先物 2019年12月	16	買建て	(17,936)
ユーロbob1先物 2020年3月	3	買建て	(353)
ユーロbob1先物 2019年12月	43	買建て	(66)
パラジウム先物 2020年3月	13	買建て	95,230
プラチナ先物 2020年1月	(8)	売建て	(1,590)
S&Pカナダ株60指数先物 2019年12月	27	買建て	54,649
ココア先物 - ICE 2020年3月	65	買建て	(11,032)
ココア先物 - ICE 2020年5月	39	買建て	1,216
ストックホルム30 OMX株価指数先物 2019年12月	69	買建て	(26,837)
ガソリン先物 2020年1月	(16)	売建て	2,500
ガソリン先物 2020年2月	(2)	売建て	2,525
白砂糖 (ICE) 2020年3月	1	買建て	(55)
MSCIシンガポール株価指数先物 2019年12月	23	買建て	(3,118)

保有商品	取引数	建玉	未実現利益／(損失)
キャノーラ油先物 (WCE) 2020年1月	(22)	売建て	\$ 1,912
ラッセル2000指数 Mini先物 2019年12月	5	買建て	5,740
ユーロ建ブンズ先物 2020年3月	8	買建て	(1,785)
ユーロ建ブンズ先物 2019年12月	37	買建て	(16,041)
大豆先物 2020年1月	(22)	売建て	23,450
粗糖先物 (WORLD) 2020年3月	(66)	売建て	(55,810)
粗糖先物 (WORLD) 2020年5月	(52)	売建て	(39,693)
SGX 鉄鉱石62% 先物 2020年1月	7	買建て	1,357
スイスフラン通貨先物 2019年12月	(1)	売建て	588
銀先物 2020年3月	8	買建て	(4,445)
大豆粕先物 2020年1月	(31)	売建て	32,050
スイスSMI指数先物 2019年12月	43	買建て	122,454
FTSEイタリア株価指数先物 2019年12月	20	買建て	44,401
東証株価指数先物 2019年12月	10	買建て	21,740
米国債2年先物 (CBT) 2020年3月	10	買建て	(1,109)
MSCI台湾株式指数先物 2019年12月	79	買建て	(50,780)
米国債10年先物 (CBT) 2020年3月	54	買建て	(13,102)
ユーロ建Bux130年BND 2020年3月	2	買建て	(683)
ユーロ建Bux130年BND 2019年12月	4	買建て	2,248
米国長期国債 (CBT) 2020年3月	25	買建て	(10,789)
CBOE VIX指数先物 2020年1月	(3)	売建て	1,445
CBOE VIX指数先物 2019年12月	(13)	売建て	19,815
ユーロストック50先物 2019年12月	66	買建て	72,848
小麦先物 (CBT) 2020年3月	13	買建て	16,325
小麦先物 (CBT) 2020年5月	4	買建て	3,875
米国ULTRA国債 (CBT) 2020年3月	15	買建て	2,219
白とうもろこしSAF 2020年3月	(1)	売建て	(1,252)
RBOBガソリン先物 2020年1月	49	買建て	(85,387)
オーストラリア国債10年先物 2019年12月	45	買建て	11,938
スイスSPI200株価指数先物 2019年12月	12	買建て	28,529
FTSE中国A50株価指数 2019年12月	98	買建て	(26,572)
オーストラリア国債3年先物 2019年12月	237	買建て	36,031
FTSE100指数先物 2019年12月	23	買建て	11,039
LME アルミニウム 先渡	(17)	売建て	(17,388)
LME アルミニウム 先渡	-	買建て	(22,270)
LME 鉛 先渡	3	買建て	(36,012)
LME 鉛 先渡	-	買建て	15,381
LME ニッケル 先渡	7	買建て	(176,580)
LME ニッケル 先渡	-	買建て	48,893

保有商品	取引数	建玉	未実現利益／（損失）
LME 銅 先渡	(8)	売建て	\$ 19,895
LME 銅 先渡	-	買建て	(91,070)
LME スズ 先渡・スポット	-	買建て	(1,448)
LME 亜鉛 先渡(ドル)	4	買建て	(107,416)
LME 亜鉛 先渡(ドル)	-	買建て	(51,000)
			\$ 511,205

5. お知らせ

該当事項はありません。